

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和4年9月7日（水）13時30分～16時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、

加藤原子力規制専門員

文部科学省

原子力課

横井原子力研究開発調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他5名

高速増殖炉もんじゅ 所長代理 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料0：説明スケジュール

資料1：高速増殖原型炉もんじゅ 性能維持施設について

資料2：高速増殖原型炉もんじゅ 汚染の分布の評価について

資料3：高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉の運転停止に関する恒久的な措置

資料4：高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置第2段階における運転員の体制について

資料5：「もんじゅ」サイトに設置される試験研究炉に向けた地質ボーリング作業について

資料6：ナトリウムを含む洗浄廃液の管理方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは本日の面談を始めさせていただきたいと思います。早速、資料に基づきまして原子力機構の方からご説明をお願いいたします。
0:00:12	はい。原子力機構サワザキです。
0:00:15	資料0で
0:00:19	説明スケジュールを示させてもらってます。
0:00:22	本日は一番下の段になりまして、性能維持施設数で前回の宿題もらったやつ个回答を含めたその他、計6件。
0:00:32	説明を予定しております。ちょっと量多いので、ポイントを絞って説明させていただきたいと思います。
0:00:40	それでは早速資料一番から順に説明させていただきます。
0:00:45	はい、では資料一番ですけれどももんじゅのウチハシからご説明いたします。よろしく申し上げます。
0:00:53	それで、資料一番につきましては前かの面談の中でいただいたコメントとして、まずは廃止措置の安全って何なんだっていうところが一つのポイントと、もう一つは、
0:01:06	リカバリープランの時の保守管理ってどうやるんだっていう、大きな論点として二つございました。
0:01:13	それ以外につきましては、例えば、エリアモニターについての大きさ、表現の適切化であるとか、あとは、
0:01:23	台数を減らすものに対するエビデンスを追加したところをコメントいただきましたので、本日はその点について修正して参りましたので、確認をお願いいたします。
0:01:37	ページめくっていただきましてまず、124分の3ページ目でございますけれども、この2ポツの性能維持施設の抽出というところで、
0:01:49	廃止措置段階の安全というものが何なのだというのを追記をいたしました。
0:01:56	それで、これにつきましては、少しページをめくっていただきまして、
0:02:04	124分の11ページ目に、以前の面談の中で、排水手段かいいにおきましては、安全機能は、Millstoneに依じていろいろと移り変わっていきますと、
0:02:18	いうお話をしています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	で、大きく分けると、大上河野をブルーで示します、原子力災害の防止対応、それから、
0:02:30	それ以外について、廃止措置の安全確保という二つの観点で、廃止措置段階の機能を確保していくと。
0:02:40	いう中で、上からのブルーの部分、ここについてが、廃止措置段階の安全に大きく寄与するところを、本文側に説明する内容を付け加えております。
0:02:54	土佐 124 分の 3 ページ目の指揮部が今回追加したところでございます。
0:03:02	まずは、段階的に変化する状態に合わせて、先ほどのブルーの上川の方ですけれども、原子力災害の防止の対応に用いる施設に加えて、下側の、
0:03:14	廃止措置の安全確保に必要な施設、これを性能施設として適切に管理していくことが重要だということを記載しました。
0:03:25	この先が安全に関するところですが、廃止措置の進展に伴って、プラントに要求される安全機能を変化していくことから、
0:03:34	原子力災害の防止対応及び廃止措置の安全確保のため、ISO に応じて性能維持施設も先ほどの図 3 の通り、変化をしていきます。
0:03:47	第 2 段階におきましては、すべての使用済み燃料が燃料池にあって、原子力災害の防止対応の観点から、使用済み燃料の未臨界維持、冷却、
0:03:59	それから、一般公衆への過度の被ばくの防止という、防止緩和といったところが、挨拶段階における安全だというふうに定義をいたしております。
0:04:11	また、排出の安全確保の観点から、今回、台数を変えております管理区域の関係であるとか、放射線管理施設というのは、
0:04:23	下側の 2 ヶ所になるというところを、説明として付け加えております。
0:04:30	で、3 ページ目の下の方になりますが、その性能礼節を選ぶときに、①番から④番のような考え方があるよというのは、先にご説明いたしておりますけれども、これが、
0:04:45	一体、どの部分が原子力災害防止の観点なのか、どの部分がハウスの安全の観点なのかというところを追記をいたしております。
0:04:56	で、ページめくっていただきまして、
0:05:06	124 分の 12 ページ目になりますが、以前お示ししております性能施設の選定フローの中の、
0:05:16	左の方のひし形二つが原子力の災害防止、右側のひし形二つが廃止措置の安全確保というところになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:30	はい。
0:05:32	ということで、結論を申し上げますと、我々として安全とは何かという定義におきましては、使用済み燃料の未臨界冷却、一般公衆への過度の放射線被ばくの防止だと考えておると。
0:05:46	いう考えをここに記載いたしました。
0:05:50	次ページ、4ページから5ページ目にかけては、ちょっと所要の修正をして参りましたけれども、説明の中身を詳しく書いたというところでございます。
0:06:05	両括弧4番につきまして、5ページ目の両括弧4番につきましては、エリアモニタリング設備の内容が少し不足してございましたので、今回の変更申請の内容に合わす形で追記をさせていただきました。
0:06:22	次のページ6ページ目でございますけれども今回、エビデンスを追加して欲しいというご要望のあった、両括弧8番の丸井千葉丸井の定義もう少し、
0:06:36	わかりにくいところもあったので、例えば①番は、単純に予備キーとしか記載してございませんでしたけれども、廃止措置段階での予備機であるとか、
0:06:47	2番目につきましては必要な性能を上回る設備ということで、要望適正化しております。
0:06:55	排出段階の安全に関わる、燃料池の冷却であるとか、冷却につきましては、予備機も維持して、過度の放射線被ばくを放出量の進みについては、
0:07:08	今回におきましても、既往の許認可の台数を維持するというところで、安全に寄与するところについては台数の変更をしていないところでございます。
0:07:20	それで、ちょっと当方の説明も不十分だった。
0:07:25	今日お話ししておるところとして、今回台数を削減した削減したと申し上げておりますけれども、設置許可の台数というのは、もともと、
0:07:35	何台をその船戸に設置するかという台数を書いていて、SC計画の台数というのは、1装置段階で必要な台数を記載しておるので、
0:07:46	予備狭窄としたそもそも家具が合わない定義になっているので、そのところの考え方の説明が少し不足してましたので、
0:07:57	ちょっと今回ちょっと改めてご説明いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:03	7、7ページ目移りますけれども、リカバリプランのところで、前回議論になりましたリカバリプランは、一体いつまで維持するのだというところで、
0:08:17	以前は経験を積んだら、いずれリカバリプランをなくしますというような記載にございましたけれども、今回は、リカバリプランで使用する設備は、
0:08:30	遮へい体の取出し期間中、ずっと維持をするというふうに記載の変更をしております。
0:08:38	別の都合というものを新たに付け加えましたけれども、13ページ目にその別素子がございます。
0:08:49	これは以前さん心配法の中で、これからの管理の案として、お出ししたものでございましたけれども、今回は確定した形で、案というものは取り除いてこういった図を添付しております。
0:09:05	変更したかつ箇所といたしましては先ほど申し上げました、いずれこうプランを見直していくと、であるとか、そういったところの文言を削除して、成案として、こちらに添付をしております。
0:09:23	最後8ページ目でございますけれども、ただし書きのところで、以前網消しにしましたけれども、以前はリカバリプランで使用する機器について、
0:09:35	点検長期を要するものについては、事前に点検をしておきますというようなところを記載してございましたが、
0:09:43	こちらでの議論を踏まえまして、再度、機構の中で検討したところ、確かに今回の遮へい体取り出しの工程誘導を考えると、
0:09:54	こういった合理的ではない、事前に点検するというものについては見直しをしようということで、この記載は削除をいたしました。
0:10:05	したがいまして、三池氏の上のところから見ていただきますと、リカバリプランで使用する設備につきましては、特別な保全計画で、休止設備として管理をし、
0:10:18	いう点検期限を迎えるについてあっても、使用の必要が出た段階で、点検をし、検査をするというような流れに変えてございます。
0:10:29	西郷6のところでございますが、以前、維持期間が終了したものと終了していないものが、第6-1表の中で識別しづらいというようなご指摘もございまして、
0:10:44	今回、維持期間が終了したものについては、6-1表上で斜線を引くと、そういった識別をすることといたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	と、別紙の4というのが第6-1表になりますが、63ページ目からが別紙の4、
0:11:07	第6の事業の変更案でございます。
0:11:11	65ページ目を見ていただくと、途中で機能の欄と性能の欄に三池斜線をしてあるようなものがございますが、
0:11:21	表現としてはこういった形で、維持期間が終了したものを明示をすることといたしました。
0:11:29	従いまして、この斜線につきましてはこれまでお出ししております変更申請とは異なりますので、改めて補正の申請が必要。
0:11:40	あとどう考えてございます。
0:11:44	本文につきましては、ご説明は以上でございます。安全に対するところ、それからリカバリープランの考え方を変えたところ、
0:11:54	6-1表の大石期間が終了したものを、表現については、以上でございます。
0:12:04	ページ、
0:12:05	それから、
0:12:08	13ページ目からは、別紙の1ということで、維持台数を変更するものについての詳細な説明を、表で説明しております。
0:12:20	で、改めてですね、
0:12:24	廃止措置段階の安全とは何ぞやというお話をいただいて、この表の中でも、やはり安全に比木をする設備がないのかというのは再度確認をし、明示をした方がわかりやすいと考えましたので、
0:12:41	表の中で、右から2番目になりますが、性能シリーズというものを追加をいたしまして、別図4というのは、先ほど見ていただいた性能施設の選定のフローですが、
0:12:55	この中で、どの、
0:13:00	パターンで性能施設に該当するのかというのを明示をいたしました。
0:13:07	ここで④番と書いたものは、
0:13:11	12ページ目のフローを見ていただきますと、緑の部分の廃措置の安全確保、
0:13:19	④番、安全確保上必要ませ。
0:13:23	ということで、原子力安全ではなくて、作業安全であるとかそういった所要の安全のために必要なものでございまして、
0:13:32	今回の台数削減につきましてはすべてこの④番だということを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:40	表中の欄として表示をいたしております。
0:13:46	15 ページ目戻っていただきまして、このように、編集関連との関係を明示しましたので、例えば 15 ページ目の一番上の原子炉機器冷却水熱交換器であれば、
0:14:01	本当に原子力安全に関係ないのかというところで、A B系に市来E C系に行き、合計 4 基あったという中でも、
0:14:12	今回削除するところについては、C系ですので、B系は燃料の計画には関係なくの追求をしております。
0:14:23	それで言葉だけの説明ではわかりにくいので、詳細は別紙 1 参照と記載してございますが、
0:14:33	と、
0:14:35	124 分の 29 ページ目を見ていただきますと、
0:14:41	こういった別紙の添付の分がございまして、
0:14:46	左側から利益 D k / C k となりますが、
0:14:51	燃料の冷却に関わるような、燃料池の冷却、情報装置、例えば A 系であれば、一番上のもの、B 系であれば、一番上のもの、
0:15:02	ということで、そういった燃料の冷却は B 系にしかございませんので、その内容を追記をしたところでございます。
0:15:18	原子炉器冷却雨水設備、海水設備については、同様な変更をしております。
0:15:26	それから、16 ページ目のエリアモニタリング設備でございますが、これ前回の指摘として、②番のところで、単純に、
0:15:38	第一段階と第二段階は同じような状態であって、第一段階で、線量頑張らなかったから第二段階も上がりませんみたいな表現でしたけども、
0:15:49	そこについては
0:15:52	詳しく記載をしております。
0:15:55	②番のところで、第一段階は燃料取り出し作業を実施するために維持したが、燃料体の取出し処理に必要な設備は、点検期間も含め、放射線レベルに有意な変動がなかった。
0:16:09	第一段階と同様の作業を行う。大南家においても、そのレベルは著しく低いために、不要、
0:16:19	ということで、
0:16:21	説明の内容を詳細化してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	それからその下、2月の循環排気装置につきましては、所要の文言の修正をしております。
0:16:39	17ページ目の格納容器の換気装置に移りますけれども、こちらについては関係全般にいえるところでしたが、50%運転にしても3ちょうど以下に、
0:16:53	しか部屋温度はならないので、大丈夫ですというような表現でしたが、
0:16:58	エビデンスもしっかりとをつけて欲しいというところもあって、そのIDを追加してございます。
0:17:09	ページで言いますと、
0:17:15	124番の55ページ目以降が、
0:17:19	こういった空調設備を用いまして、50%の出力で運転したときに、その対象する換気部屋の室温はどう変化したのかというものを、データで示しております。
0:17:34	赤字のところ、その換気対象部屋の室温、それからオレンジの箇所が外気の温度でございます。
0:17:43	いずれの記録につきましても夏場の概況の高い時期に、その室温がどう制御されておるのかというのを示したものでございます。
0:17:53	30度以下のところで、一定の温度に制御されていると言うのが、55、56、57。
0:18:04	ただ、
0:18:06	59ページ目までございます。これらのデータを用いまして、人が整理をされて、低く抑えられておるといふところの多い日としております。
0:18:19	で、55ページ目見ていただきますと、
0:18:24	横軸のところ、2022年の8月10日から22年の8月22で、このページを見ると、もっと長い期間になってますが、
0:18:36	この55ページ目の、
0:18:39	もの、それから、
0:18:41	59ページ目のものにつきましては、今回新たに記録を採取して、再度改めて、30度に至らないというところを確認いたしましたので、
0:18:55	グラフ中には注記として新たに記録を採取というような文言を入れさせていただきます。
0:19:18	でそういった説明が18ページ目から、関係のところずっと続きますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:29	前回の説明の中で、18 ページ目の、例えば、集客ケーチ損益部長装置で ございますが、
0:19:39	これは部屋を実装に切りしておくための空調では、
0:19:44	あるんですが、設備が止まっても窒素雰囲気を維持していきますと、い うような表現にしましたが、そこについて、その意味合いを詳細に記 載しております。
0:19:56	この系統とは別の、窒素ガス供給系と、この窒素雰囲気室には圧力差が あるので、窒素ガス供給系の弁を開けることによって、窒素が供給注入 されますので、
0:20:11	それによって窒素雰囲気は維持できるというようなところを、詳細に説 明を追加しました。
0:20:23	はい。
0:20:29	それから同じような説明が続きますので割愛させていただきますけれど も、
0:20:41	23 ページ目。
0:20:43	から、設備が変わって、北井は、すいません、22 ページ目の一番下です ね、22 ページ目の一番下と 23 ページ目の一番上になりますが、
0:20:55	気体廃棄物処理設備につきましては、
0:20:59	A、
0:21:00	100%が 2 台あって、
0:21:04	この圧縮機とか、排ガスを用いなくても、バイパスで、そういった処理 ができますというのを非常に記載しておりましたが、
0:21:15	その内容を詳細に説明するとともに、添付の中で図を示して、
0:21:22	するようにしています。
0:21:25	戸部椎名さんの、60 ページ目ご覧いただきまして、
0:21:31	60 ページ目が、
0:21:33	この 1 人廃棄物処理設備の系統を示すものでございます。
0:21:39	左の上の方にガス発生ってというような、ちょっと黒目の
0:21:47	ハッチングがかかった矢印があると思いますが、ここから排ガスが気に してきまして、ガス受入管というものに入って、通常は点線で示すよう な、
0:21:59	範囲が佐治さんの方に導出されます。
0:22:03	しかしながら、こちらの系統を用いませんでも、
0:22:09	ピンクで示すようなラインもございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	このラインから、排ガスすることによって、足首誰とか、排ガスを使わずとも排ガスが処理できる。
0:22:25	いうものでございます。
0:22:28	排気塔の手前にエゼクターというものがございますけれども、これによって、重立米ぐらいで、排ガス引くことができますので、それによる瞬間によって、こういった系統の、
0:22:40	ができるものでない。
0:22:50	最後、
0:22:57	23 ページ目、2、請求圧縮設備というものがございまして、これにつきましても、以前は、
0:23:08	制御用空気や飛沫がなくとも、所内圧縮空気バックアップできると、というような話のみ記載してございましたが、
0:23:18	同じように、61 ページ目のところに、その系統図を示して、内容がわかるように工夫しております。
0:23:29	61 ページ目の系統を見ていただくと、生業圧縮規制。
0:23:34	圧縮機というものが、A号機が一番上、B号機が一番下にございます。
0:23:40	これと同じように、もう一つ、性能施設として、所内用空気やしゅっ機というものもございまして、これをつなげることによって、一番右の方のA系とかNKとかB系とか、
0:23:55	ああいうような負荷に、圧縮の供給が可能ですので、
0:23:59	もともと2台あって予備機を削減するけれども、さらに、所内用の空気圧縮機でバックアップもできるというものをちょっとして説明するような工夫しております。
0:24:14	で、
0:24:15	今回、改正をしてお持ちしましたのが、こういったところでございまして、別紙の1から3につきましては、今の本文の内容を、
0:24:26	整合させる形での修正をしておりますので、説明としては割愛いたしますけれども、変更箇所につきましては以上でございます。
0:24:38	原子炉規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
0:24:50	一見ちょっと言葉の定義だけなんですけど、
0:24:54	殊 120、15 ページです。
0:25:02	海水、海水ポンプ、
0:25:07	明日のところで、C系の方は3台。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:11	いえ。
0:25:13	阪神地区及び木田三木って言うてるんですが、それが詳細図が、
0:25:21	紹介等がですね、90 ページ。
0:25:31	そうですね。はい。50%容量のものを3台あったってことですよね。はい。3台のうち、
0:25:41	藤。
0:25:42	2台を運転してったってこと。
0:25:46	これ、これまでですか。麻生これまで。
0:25:50	これまでっていうか運転中、そうです。そうです。
0:25:53	別に。
0:25:56	予備機っていうものがあつたってことではなくて150%容量を確保したってことでよろしい。
0:26:02	150%出せる販売で150%出せるんですけど、運転上はそんな150%出す必要ないので、二階の100%で売ってまして、
0:26:14	小峰の言葉のあれだけ予備機っていうものがあつたのかなかつたのか。
0:26:22	土肥市田ですから、予備機ですね、100%でいいので、
0:26:27	引きっていう購入の予備機っていう文言があつたかというところっていうかあの、CはC t o C IIIっていう、C T C西井さんっていう工期がありました。ちょっとその中で2台を運用するっていう形が通常運転してますので、1台は予備というか、
0:26:44	うん、読んでるだけで、予備、予備号機っていう工期はないんですかそういうことだから、何か今回その廃止措置段階の予備機の運用っていうことは何か、
0:26:55	運転段階においても予備機が運用があつたように見えるんですけど、
0:27:01	現段階でも予備機ではあります、3台運転を100%として、運転してるわけではなくて、
0:27:10	だから3台中2台を運転してたそうですねはい。
0:27:14	別にC案室C C bのC IIIが予備機ですっていうのはしてなかつたってことですよね。
0:27:20	それで、切り換えながら切り換えながら、定期的に切り換えながら予備機、今予備機は全然動かさないみたいな運用はしてません。
0:27:29	だから予備機っていうのが固有のものとしてCはCさんは予備機ですっていうものはなかつたってことでいいですよ、予備機ってのがあつたかなかつたか、何か私、伝わってるとは言わないんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:41	圧縮予備機の解釈の考え方。
0:27:45	うん。今おっしゃったような、常に強いワンシートだけを使ってCさんは予備機ですってという宣言をしたわけではないですよ。そうするとここで廃止措置段階の予備機の運用ということが何か、
0:27:57	運転段階においても予備機の運用があったのかなというふうに読めちゃったんですけど、
0:28:03	予備の台数として確保していましたっていう、
0:28:07	意味で記載したんですけども、
0:28:10	いや、そこは多分、説明だけ予備機っていうものがあったのかなっていうのは、基本的に100%運転に対して、
0:28:19	過剰の分を予備機って言うので、例えば、A号機100% B号機100%ってあるとすると、A号機が運転後、
0:28:26	B号機及び、
0:28:28	もう決めてるわけでは決めてるわけではない。
0:28:31	いや、本当に文字の中で、何かずっと何も、
0:28:35	何かバックアップで置き直読器みたいなものはないって、そんな解釈してもらえると。
0:28:41	だけど、そういうふうにちょっとよ、この資料4-1。
0:28:46	ごめんなさい。ちょっと6ページに本文ところで、8、8で、①で廃止措置段階の予備日って書いたんで、廃止措置段階にあって、一つ前の、
0:28:57	運転段階での皆さん、
0:29:01	ごめんなさい。
0:29:03	指っていうのはなかったってことでいいんですよ。
0:29:07	そうですね。
0:29:09	単独で予備機ってのが存在してたのかっていうとそうじゃない。
0:29:13	ですよ。だから今回改めて、
0:29:16	定義するとかってそういうことだ。
0:29:21	いや、そこは多分変わらなくて、この辺段階の時からもう、何か号機を指定して、通常の予防規程及びきっていうやつはしてなかったんですけど。
0:29:32	もう廃措置段階では、この予備機って言うべき地震の考え方は変わってない。
0:29:39	廃措置段階の性能が少しかうクラウド状態によって、
0:29:44	その予備機っていう位置付けが変わったよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:48	どちらかというと、
0:29:51	例えば生駒ダムあちこち行っちゃうんですけど、15 ページのその、
0:29:56	表の一番下のところで、新ポンプ隊措置前から予備機であり、書いてある運転延長予備って、予備機って言うてるのは 100%以上のもの及び来とって、予備機のページがない。
0:30:14	わからないけど、100%以上のものは予備機と呼んでいたもので、それぞれは確かに抜けてますんで、
0:30:23	はい。
0:30:24	はい。はい。
0:30:28	もらったんですか。
0:30:31	聞いてみる。
0:30:33	車の予備機っていうものが、特定の
0:30:36	特定された。
0:30:37	海が特定されたものではないと。
0:30:40	だから敗戦段階においても予備機ってのは、特定されたものではない。運転中から、
0:30:45	副院長が確定されたものではなくて、容量で余裕があったっていうふうに私は理解した。
0:30:52	そうですね。
0:30:54	設備上の余裕があって 150%なので、50%の余裕があったです。はい措置においても、
0:31:01	50、50%段階によって 100%だったものが、
0:31:07	10%になれば、ほぼ 100%の余裕があるんですけど、そういうふうに理解します。
0:31:13	例えば、124 年度 21 ページでは、
0:31:18	一番思いますけど、
0:31:22	仕組みは見て通って、
0:31:25	排水しましたが、
0:31:28	これはどうですか。
0:31:31	これも同じ条文で、
0:31:33	設備は 2 回あります。だからまず 1 で気が付いたかっていう。
0:31:41	1 台を点検するときは、
0:31:44	もう 1 台を動かさなきゃいけないので、そういった意味で、2 台はありましたけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:51	それを読み込んでると。
0:31:54	原子炉補機冷却水ポンプのA B号機があるとすると、A号機が100% B合計が100%あるとすると、B系と、
0:32:04	R C W Sについては別々の系統なんですけど、もっと違う系統で行った方がいいのか、関係のB号機っていうと、100%ずつなので、100%で運転していて、100%以上20%確保しているものについては、
0:32:18	A号機が運転後B号機が予備機っていう形で呼んでいっているっていうだけで、
0:32:24	5基が予備号機っていう形ではない。
0:32:29	だからただそれを指定してるわけじゃなくて、100%2台あって、こっちがこけたら反対が動かしますっていうので、必ず出ましたっていうの。
0:32:39	言いたかったんですけど、予備機の設置時は点検、
0:32:43	切り換え紛争後高照射とかバックアップ。
0:32:48	磯野。
0:32:50	それを、
0:32:51	いや、違う。
0:32:53	選挙の時に、
0:32:55	抜きつけてると保証者括弧
0:32:59	どっちかっていうと、これ、
0:33:04	僕は野地有賀スケールビルに、
0:33:06	多分これ全社だと思った遊び通常、
0:33:10	連結するために、東高アンテナ
0:33:14	のためについてたんだろうと思ったので、
0:33:17	言うでも皆さん話聞いてると、いいですって。
0:33:23	すいません。原子炉の運転の時は麻生です。安倍さんおっしゃる通りですね、片方が全然駄目だったんです。だからそれが原子炉を運転していない。
0:33:35	弓削技師わかりましたそうです。はい、そうですねああ、そうそう言っているところと言ってないところ。はい。そうですね。はい。そうですね。
0:33:45	そ、そのご理解だからそれによって、扱いが違ってくれないと。
0:33:50	はい。
0:33:51	10月ですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:55	あと悩ましいのは、台数休んで反対でないんですけど、いらっしやったやつも、まだ行政に管理する。
0:34:04	その時に、それがね、
0:34:07	また使う必要な商品にどうするんですかっていうところがあって、
0:34:11	金こっから削除しましたもう完全に入ってしまうっていう話があったんで、
0:34:16	そういう確認書でもいいんですけども、そのパターンを復活させたいという議論するんだったら、その次はどんなことを決議するんですかってことは、
0:34:25	どこまで。
0:34:27	えっとですね、性能維持施設等、今予備機という呼んでますけれども、それについては、メンテナンスは全く同じことをやります。
0:34:38	検査としても、て事件を両方とも同じようにやります。
0:34:42	で、万が一、性能施設の方が、運転中と同じように、何かしら故障したという時には、メンテナンスをして検査を受けていた、予備機を運転すると。
0:34:54	いうふうに考えてます。それ、それだったら、
0:34:57	もう減らさないっしょ。
0:35:01	今回、廃止措置計画に書く台数というのは、
0:35:08	廃措置段階で必要な最低体制を書くというふうに定義をしましたので、
0:35:13	そうであれば、運転するために質問を出して、1台ですので、切り換えようが1台ですので、その1というふうに表現したというものでございます。
0:35:25	それ回収は進むんですか。
0:35:29	要するに結局
0:35:31	一部半分というて、
0:35:33	お金がかかって、全然話進んでない。
0:35:37	いけば、
0:35:39	そういうふうになっては、
0:35:42	ちょっとすす像は五つ以上が台数がいらっしやるというふうにして、
0:35:49	どれが性能時点とか制御しない、はっきり区別されていないと。
0:35:54	これがそう言ってますよね。
0:35:57	運転しているものが性能一位になると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:01	いや、それって言うてですね、そこは実用炉は、実際そういう要請、相談。はい。ただ、それを投資する必要はないって、
0:36:12	我々、
0:36:14	私のファシリティーとしては、性能維持施設として維持管理しますって言うてるものが書類上は1台しかないことになっていて、
0:36:24	それがある時々で、AだったものがBになりますときに、そのBっていうのは、本当にちゃんと検査されていつでも使える状態なってるのかどうかっていうのは、
0:36:36	書類上書類上ですよ。事実、実際は別として、その書類上、それが担保できてないことになる。
0:36:45	なるような運用っていうのは、あまり好ましくないんじゃないかなと個人的には思う。
0:36:50	だけど、定期事業者検査の申請書、井上さんが住んでいるけども、その中で、検査の対象であるとか、検査の方は、別途定めます。
0:37:02	そこで、先ほど申し上げました、予備機も含めて、検討しますというのは、互いに合意をする。
0:37:09	ことで、検査に対しても現地の検査官殿に確認をいただいて、通常の保安活動の中で、確認いただく内容かなとは考えております。
0:37:21	清野時代としては廃止措置計画は1だけけれども、提示権能その計画だ時には、自主自主的な管理をしているものも含めて、
0:37:32	未来で検査をしますっていうふうな計画を出すっていうことなんですか。そうですね。
0:37:37	それで事業者として、QMS開始方向の中で、今申し上げたような台数、ところまでは書いてないんですけども、その検査項目に対して、読み込む含めた2台経過をしますというのは、
0:37:52	保安活動の中で、それを具体化したものを定めて、そちらを現地計算後送りをさせていただいて、検査を進めてました。
0:38:02	それって何かメリットあったんですか。事業着手して結局何かコストってあんま変わらないと思うんですけど、当然計算のコストっていうのはあまり、購買、
0:38:13	他のメリットなんですか。管理上の問題としては、これから排出が進んでいくと、いずれかの段階で解体をするフェーズに入っていきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:23	そのときに、性能維持施設だと、解体ができないので、自主管理の中で、2台で予備機と考えていた予備機が、もう運転いらないよという判断ができれば、すぐさま会社に移れますので、
0:38:38	そういった判断は自主管理の中で、滝井梅津側にて管理ができるようになるので、速やかに廃止に行けるという点では大きなメリットかと。
0:38:52	だからその、
0:38:54	改定に移行するときに廃止措置計画の変更わざわざする必要がなく、ないっていう。
0:39:00	ちょっとこれからですけども、本文5のところの解体の安全管理のところとかは変えなきゃいけないかもしれないですけども、ワーカー何でしょう。性能施設の倍数を減らしてさらに、
0:39:12	何か申請するみたいな。
0:39:15	ところがなくなります。はい。
0:39:22	医長のおっしゃりたいことはわかりました。
0:39:25	こういうなのかというのはちょっと別として。はい。それがメリットかどうかというのは、まだ実は現状になってすぐの段階では、多分、
0:39:38	運用も変わっていないし、何もメリットとしてはないと思うので、次、解体に行くときにメリットが出るというのは本音かなと考え、
0:39:49	はい、森です。
0:40:03	じゃあ、すみません、はい、ありがとう。
0:40:10	なんで、
0:40:12	124、20から批判形なんですけど、
0:40:18	それから8分もそうです。
0:40:21	当時は、
0:40:23	明瞭には使用していただいているんだけど、じゃあ他に何をやるんですか。
0:40:30	それは書きます。だから
0:40:34	二段階数値にいったらこれこれ趣旨するので、
0:40:38	言う、全部これだけ下がるっていうのはない。ない。わかりました。あと、実際どうなんですか、これ、後何使ってるかって言うリアルなページに、
0:40:52	あるんですけど、それはもうプラント中いろいろ伝わっているので、
0:40:59	ちょっと今から動くのがメンタリティーですか。
0:41:03	取り切れまあそうですね、あと何があるんだろう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:08	上下ユニットレーションやそうだけ背景会計。
0:41:15	です。
0:41:20	でき背景なんですけど、これからちょっと千葉の肺癌ってなんですかね。
0:41:25	これもうだから、
0:41:27	どんな配慮するかって書いてわかりやすく、
0:41:30	どうぞ。
0:41:33	C R学生はもう、フィールド回ってるだけ。
0:41:37	だから基本的にそっからいけない。
0:41:40	清ループで回ってるんですけど一応
0:41:44	原子炉容器内のは、カバーがされてるか整理をしますので、一定段階たまった段階で抜く。
0:41:52	とかっていうタイミングがあります。それと、はい。
0:41:56	あと現行年処理でドアバブルの接続とかパーティーっていう操作があります。その年今年処理の中で排ガスが出る。これ、
0:42:07	ぐらいだと思ってますけど、思いつくのはそれぐらいしか、
0:42:13	まだ使うのはそのぐらいの容量を変更するってのはわかります。
0:42:18	どうぞ。
0:42:19	理解しやすい。
0:42:27	間合い1のところについてはですね基本的に燃料池の冷却のところ装填を当てて、回答させてもらった形が一番わかりやすいのかなと思ってたので、こういった記載があって、安全による場合そうですね。
0:42:44	そういう、はいって切り口で話すっていうものに重点を置きました。
0:42:52	それでねちょっと説明があったかどうかわかんないんですけど。
0:42:55	これ、昨日だってもらって読んで、一番気になったのがね、124ページの5ページなんです。
0:43:06	はい、というところに1、5行目ぐらい、燃料池。
0:43:13	冷却浄化槽です。
0:43:16	t h e脱線機を止めるってばっかりんですけど。はい。この辺りはね何だけ。観世止めたでしょ。はい。反芻で止めたところに何か議論しないかなっていう気になってて。
0:43:30	抽出のルール、
0:43:33	悪化というか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:36	すぐには私こう書かれて、院長は言えないと思ってて、そっちに生じます。
0:43:43	だから、ご存知の通り何だっけ。勝山で、
0:43:49	向けて所蔵します。
0:43:52	それなんかも確かにどういう状況かなんかの、
0:43:56	データが出してきて、ご説明されました。
0:43:59	性質もちゃんと管理されてますから、
0:44:02	そういう、多分そういった判断をする。
0:44:05	というのでちょっとここがよく考えて欲しいと。
0:44:09	どうぞ今日も確認させてください。
0:44:12	ここに注記で赤字で書きましたけれども、燃料池の冷却浄化装置をひと月ぐらい止めた時の連続の上がり、いう所これ具合。
0:44:24	それは観察をしてみしてそういったデータもお出しすることが可能なので、1回でしょ。
0:44:34	ヶ月ぐらいでその判断。
0:44:36	それぐらいじゃここはちょっと燃料なんで。はい。冷却は確かに崩壊熱ないかなって言われそうかと思うんですけど。いえ。
0:44:48	水室をね、
0:44:51	何かそういう
0:44:52	どうかなとか知ってて、
0:44:55	これからあれでしょ、野瀬全体一般的。
0:44:59	ちょっと見て、
0:45:03	響かない表を入れてくるんでしょ。はい。松井 2013 ですね 100%というんじゃないし、おそらく、
0:45:11	そこはねそれ僕はい。
0:45:14	夏目いいと思って。
0:45:17	そうです。
0:45:19	そういう、ここが一番気になります。
0:45:21	わかりましたから協会出されて今日私言います。
0:45:26	すいません具体的にはど、どこが炙りできないっていう、脱塩器を不要としたっていうところが悪できないっす。
0:45:34	ここについてはプレコートフィルタの方で水が浄化できててっていうものが前に書いてあるんですけどね。それはしない。ちょっとそこら辺の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	説明はもうもちろん急いであるっていうのはもちろん、維持するための説明残してね。
0:45:50	なるほど。ただこの括弧書きで書いてるのは、前提した場合で全然浄化してない状態でも1ヶ月悪化しないっていうことを言ってるんで、こちら辺の説明をちょっともうちょっと詳しくさせていただきたい。
0:46:02	で、何か後、合理化した新規意見書。
0:46:08	そう。だから、1ヶ月ぐらいの数字がデータもらったって多分取りませんが、
0:46:14	もともとあの水の浄化をするのはこのレポートフィルターのところ、それをバイパスするのがここでいう雑役というものなので、
0:46:26	だから、浄化するラインは当然残しますけど、バーサプライを消すっていうのは、決得愛子おっしゃる通りわかりづらいので、そこは丁寧に説明できるように、
0:46:37	売上しま
0:46:38	目的。
0:46:40	ハードル高い。
0:46:45	ここまで来て、はい。
0:46:55	エリアモニターとか、わかりやすくなったなと思ってありがとうございます。リカバリープランところは、私はこれで、
0:47:02	ちゃんと意見はない。
0:47:05	はい。ご尽力、はい。
0:47:08	そうですね。はい。
0:47:16	やはりポイントは携帯の取り出し期間中我々としてリカバリープランっていうのを持って、いつでもそういうことができるんだって言うチャンスを持つことが重要だと思ってますので、
0:47:28	そこは触れずに、今回、資料はつくり込んだつもりです。はい。
0:47:34	後でどっかでも排水排水がやると。
0:47:41	そうです。4ページ。
0:47:44	配布水処理設備、これ。
0:47:50	違う。はい。下水処理施設みたいな。はい。
0:48:07	すいません。いいですか。あと、
0:48:09	相木は池はい。
0:48:13	北井秋田さんは技術なんですけれども、衛藤バイパス。
0:48:19	では、バイパスするっていうような話があって、はい。これって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:25	アイパスしても、
0:48:28	大丈夫。
0:48:29	だっていうのは何か、どっかに説明が書いてあります。
0:48:34	はい。
0:48:38	53 ページ目、上の方に、先ほど見ていただいた系統を説明するところがあります。はい。
0:48:51	別図 6 に示す通り、行く空気駆動式のエゼクターで排ガスを 10 立米ぐらいは、
0:48:59	それに流れる
0:49:00	んで、それによって、放出が少ないときには、ファイア／と貯層場合
0:49:07	ちょっと今、
0:49:09	それで、
0:49:11	60 ページ目の、この関係と見ていただくと、大学の政府。
0:49:17	今ここでやりますので、特段影響はないところで、
0:49:22	フィルタというホウ酸は別に大丈夫。
0:49:28	そうですねはい。これは圧縮キーに入れる前に、
0:49:35	その時にしましょうというのは変な言い方
0:49:38	を SHIPPING 踏まえに、
0:49:40	処理、
0:49:41	でございます。
0:49:44	この系統を通してたっていうのは、単純にハヤシの常務問題。
0:49:50	そうですね。ビルタービンビルが困っているので、もっと企業になると圧縮で、これする場合、もうちょっと丁寧に説明するべきだと思うんです。
0:50:01	はい。
0:50:02	はい。あそこは排ガスちょっとついて、これはどういう役割を持って、
0:50:09	情報ですね、活性化ページ、こういうものです。
0:50:15	説明もなく、これ、なるほどですよなあ。
0:50:22	ちょっと別紙の 3 のところで、そういったところを補足さしていただいて、そもそもアンケートは、同意したものなのかという説明から、すいません私の理解でいうと、
0:50:35	本来のルートっていうのは、圧縮機に使うパイパス貯層見て、
0:50:40	そっから稼いだて出ていくっていうことですけどね。その通りで、圧縮に加えましたというときに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:50	多分直せばいいでしょ。
0:50:52	まずは、
0:50:53	という気がしてて、
0:50:54	普通、載せないでじゃあこうしたらいいやという話。
0:50:58	いくなっていう、ちょっと様から、
0:51:01	基本的に圧縮機を通してラインっていうのは、排ガスの両方多く処理したいので、圧縮機を流してるっていう部分があって、貯層の、一次鳥類っていう意味もあるのでここら辺のそれぞれの機器の機能について、
0:51:16	もうちょっと詳しく書かせていただいて、なのでバイパスできるような記載にしたいと思います。はい。それ、そちらで対応したいと思います。
0:51:28	木崎横尾は管内でバイパスによってみたいな、
0:51:34	なんだろう。
0:51:35	瀬川。
0:51:37	実際おそらくないといけない。
0:51:40	これも幸田めっちゃない。
0:51:45	個人的にはそう思うけど、
0:51:47	ちょっと
0:51:49	詳しく検討していったら私すぐ調べ直してやってるわけですよ。
0:51:55	ただ上で背景するものもありますんで、常時入っていったのが先ほど申したRVの
0:52:03	カバーガス圧力制御してる部分で、
0:52:07	アルゴンガス循環してるんですけども、
0:52:09	タンクに溜まってそのタンクの圧力が上がってくると排気自動廃棄するっていうラインがあるんですけども、こちらについてはもう8日、
0:52:18	常時流れてくるっていうところもありますので、
0:52:21	そこについてはもうバイパスで把握しかないので、
0:52:25	平然川手愛詠を流して流路に、
0:52:30	その機械系も一緒に流すっていう構造は見つかってます。
0:52:42	てるんで、非常にこれそうですね、もう少し詳しく書かせていただきたい。はい。はい。
0:52:52	減って、あと並木さん段階と上越でも出てる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:56	これで大丈夫ですね背景はそうですね。あとだからね、現行年処理全部含めて、安全コーディネーションというか細片化取り出しと遮へい体処理について、
0:53:08	言うと、遮へい体の取り出しについてはもうほぼ圧縮機なしでもやっていけるっていうぐらいの廃棄しか出ないんですけども、製材の処理に入りますと、
0:53:18	やっぱりそのアルゴンガス置換とかっていうのが入ってますので、そういったところの処理には、もうちょっと量の多い、
0:53:25	処理になりますので足首がその場合は必要になりますんで、その時には作業を停止するだとか、そういった処置になると思います。
0:53:35	一旦立ちどまってだから圧縮系を復帰してっていう形にはなる。
0:53:40	使うかもしれない。もちろん、
0:53:42	そうなんだから完全に使わないという、言うてはいけないんですけど、2段やるので1台にしますという話で、その圧縮圧縮機を、足首とΦがちょっと1台、
0:53:56	そういうことではあれなんですねすごい、すごい読み違えてます。
0:54:01	バイパスレーン可能っていうのはこれじゃどういう、
0:54:04	それで万が一、両方ともこまとして、両方ともすいませんすいません、わかりました。
0:54:11	いや、ちゃんと書いて、ちょっとわかりづらいところもあるし、23ページ目のところで、1台がある。
0:54:24	で、保証人は、
0:54:27	小路丹羽っていうのが前提したかどうかっていうのを画面圧縮機が停止したかどうかわかんない。
0:54:34	そこまでの補償保障によって屋敷が止まった場合にはさとか、動かないなみたいな、そういうふうに、
0:54:43	ちょっとすみません、言葉ないんですけど、そういうことですか。はい。すみません。何かこれ。
0:54:48	最初読んだときもバイパスするから、全体としての、いらないように見えた。
0:54:55	いらないんですけどそうじゃない。
0:55:01	外配布しますというわけです。
0:55:16	今回の数を減らすところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:20	完全にいらなくしますというところ、先ほど話になったエリアモニターのところ、あとは外間矢口の1台を撮影しますとか、そういう変更になります。
0:55:33	それは、
0:55:35	遠藤さっき一番最初議論した
0:55:38	予備機っていう扱いのものを、一応1学期からすると、だから実質的な台数は変わらないという、はい。
0:55:47	いう社員本当に確認内容もいただけない。
0:55:54	よくあるんだよね。
0:55:56	結局、文字、文字にかかってるお金がね。
0:56:00	じゃなくて、
0:56:01	それが一番規制がうるさいからって言って少ない。
0:56:07	人をもって、こういう発言する。
0:56:10	それは後でこれ書く方が、
0:56:20	あと、
0:56:21	ナトリウムをちゃんと動かしてます。これはもう絶対変えない。
0:56:30	私
0:56:31	二次系のナトリウムと実験の中で、同じ運用なんだけど、その理由が違うっていう、やっぱどうしてもなんか気になっちゃって、
0:56:41	確かに佐瀬行けば、
0:56:44	この施設はもう性能維持施設じゃないんですけどわかるようになってるんですけどただ文言として同じ意味が違うっていうのはやっぱり何かちょっとよくないんじゃないかな。
0:56:59	ただ、維持が終わるのが、そういう状態なんですね、パークに行くかっていう状態っていうのは、
0:57:04	はい。
0:57:05	今終わる。
0:57:06	これ、それはこの間だと、一時的にタンクに固化してるだけだから、N一覽ってゆホテルだと思う。そう。
0:57:17	それで言うと2件も、抜き出すときには当然、
0:57:20	無駄とかなきゃいけない。
0:57:24	あそこなんですか。そうです。はい。
0:57:27	両方とも飛ばすには変わらないとか何も変わらないし、その

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:32	もう二次系は今固化してあって、先生じゃないけど、はい、一次系は動かして同じ会社の状況ではあるんだけど、維持してるんで、
0:57:44	一時的に云々っていうのはこの文言からいいよね。はい。
0:57:50	こういう意味では、引張プランですから
0:57:55	一時的っていう表現にして、ここに残しているんですけども、
0:58:01	安藤に保管するまでというところが強い言葉足らず、それから
0:58:07	でしたら、例えばですけどそのリカバリプラン、
0:58:11	うん。
0:58:12	期間が決まってて、最大取り出し完了するまでって決まってるんだったら、それ書きちゃったりした注釈とか、注釈でもいいし、もう、
0:58:21	何か、
0:58:22	そこでもう1回使うつけますっていうことなら、もうそのナトリウム単点枯渇までじゃなくて、しゃべりたいと、とりあえず完了する前って書きちゃっても、
0:58:34	ここは何かもうちょっと、
0:58:36	わかりやすい場合っていうかそこが延焼しない。
0:58:41	一応それもんじゃないでも議論していて、どうわかりやすく書くかっていう話もあったんですけど、今回二次系と一次系で混在しないという意味でははい。やっぱり二次系のところに使用しましたよという斜線を引いて、もうそこで一旦手を打って、
0:58:55	という形でどうだっていうところだったんですけども、一応あの意味合い的にはその
0:59:02	終了したものがわかる、わかるっていう形をとれるので、この案でいきましょうということで、中行かしていただいているんですけど。
0:59:09	駐車多くを確かにつけるっていう案も出たんですけども、
0:59:13	注釈じゃなくて、わかりやすいものっていうのは、時期が明確ではない、一時的なのか、知的じゃないのかっていう時期だってこれ読んだってでは明確ではない。
0:59:27	を取られるっていう、
0:59:29	いや、
0:59:31	とりあえず4月完了するまでと、もうそ明確になる。
0:59:35	やり方。
0:59:37	ほら、よろしいんじゃないでしょうか。
0:59:40	うん。わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	こちらについても、持ち帰って検討させていただきます。
0:59:46	工夫の仕方、
0:59:48	なとりの城他いいをイメージしていたので、こういう社員にしていたんですけど、
0:59:55	遮へい体を取り出してそのあと多分、
1:00:00	動かせるとかなってるから、ちょっと考えさせてください。
1:00:06	もうやりませんってなると。
1:00:10	その使う可能性があるっていうのは別ですよ。それはいいですよ。それないんだったら、何かもっと明確な書き方があるんじゃないかな。なるほど。
1:00:18	ちょっと工夫していただきました。持ち帰って、
1:00:28	ちょっと数、最初の話に戻るんですけど予備機の話で、
1:00:34	今回、日系2台の1台にしたもの等で、先ほどちょっと話があったんですけど、
1:00:41	医師、運転中は、
1:00:43	2台1台運転なんですけど、1台が待機状態で、
1:00:48	故障したらすぐ切り替わるというもの。
1:00:53	なのかどうかっていうところはちょっと、
1:00:58	教えて欲しいんですけど。
1:01:00	こんなものはもともとない。
1:01:02	自動的に変わるもの。
1:01:05	そうですね。基本的にはここで言った、そういう圧縮空気設備は自動的に変わります。
1:01:12	苦情処理。
1:01:14	助手。
1:01:16	あとは、あれもまずし、
1:01:19	ちょっと予備は整理をします。自動で切りかわるものとそうでないものを書き分ければいいということです。
1:01:30	自動で切り替わるものは、それは運転中だから、自動で切り替わる必要があって、多分、2台の作業が、
1:01:39	というのが、もう運転を停止することによって、
1:01:43	廃棄号機を
1:01:45	必要じゃない、配ったんですっていうのがあれば、そこは明確にしといて欲しい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:51	先ほど来の話からすると、要は運転段階、注文バックアップとして買ってたものなんか予備として使ってたもんかという違いがちょっと。そうですね。バックアップって言うてるものは自動で切り換え待機号機って言いましたけど。なるほど。
1:02:08	言葉の定義として斎木号機として今回上の話、やっぱり気になるんすよね。そんなねそこが気になってらっしゃるんだろうなとおっしゃるんですよね。
1:02:18	うちで出しますってながらその大金
1:02:21	生かしてるっていうから、
1:02:22	ちょっと一緒じゃない、そうですね、何も変わりませんって言うんだしたら、
1:02:28	それなので、そもそもだから運転時にバックアップで使ってたものなのか予備扱いだっただのかっていうところをちゃんと明確にして、
1:02:45	で、明確になるのかなと。
1:02:48	いや、あの切り換えが必要なくなったっていうことを説明して欲しい。はい、どうぞ。
1:02:56	わかりました。
1:03:03	組織にしないよね。
1:03:05	もう加藤さんがさっき欠席そうだったかって言われても、もし、
1:03:10	だから、いや、それ、形成そうだって言ったのは、うん。
1:03:14	対象の設置が違いますよ、全部が全部。
1:03:19	それはそうだって言ったんじゃないくて、そういう運用してる設備もありますっていう、そういうことですね。いや、ちゃんと。
1:03:28	主義、
1:03:29	寝せ軽水炉ももうちょっと一緒に、同様に自主的に、
1:03:35	維持管理はしてくんですと、いうことを言ってるんで、同じような動きは指定しないのと書いていただいただけ。
1:03:44	設備にしといて、それで、予備機は自主的に管理しますっていうのは、
1:03:50	下水道課の方針のように、
1:04:00	本当ごめんなさい、衛藤さん、今最低必要台数にしてるんですっていう話なんですけど。
1:04:08	今回、
1:04:09	その変えてないものうは、
1:04:14	最低必要台数。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:17	予備、予備の容量があるものも入ってるんじゃないね。40 に対し、
1:04:25	んですけれども、
1:04:27	2、
1:04:29	最初に申しあげました安全の整備の中で、
1:04:35	燃料の冷却であるとか、そういった安全に関わるところについては、今回予備品も含めて維持管理をするようにしております。
1:04:47	だからごめんなさい。その表の 6-1 の性能実績の章全体で、
1:04:54	最低必要台数を書いているんですけどっていう説明ではないです。
1:04:59	そうですね。例外がありますので。はい。
1:05:02	例外を最低必要台数を、機能によって、予備機も含めて、必要だと判断したところは、
1:05:11	それを最低必要台数って呼んでる。
1:05:14	浅井ってでも何かいい色違うんだ。さあ、多田角田から話がねなかなかね、進まないんですよ。どういう定義で、最低使用台数っていう言葉を使っていますっていう話はね、お互いの場合、最低必要台数があるんですけどっていうと、
1:05:36	そこの定義をやっぱりお互い理解して、話を進めないで。
1:05:41	ちょっとね、
1:05:43	難しいですね、多分前回の説明の中に見てちょっとつけ足した部分があって安全上重要な安全排水段階の安全っていうのは何だっていうのを明確にした上で、
1:05:55	そこについては、予備機も含めて、我々は性能維持施設としての管理をするということを書いてあるので、
1:06:03	はい。
1:06:04	そういうことですよ。
1:06:25	126 ページですね。
1:06:28	10 ページ目の直のを、
1:06:32	直がこの廉売を変えて、
1:06:36	燃料池の冷却の増。
1:06:38	これについては予備機を、
1:06:41	それから、
1:06:42	放射線被ばくの防止のところについては今日民間団体等です。
1:06:49	②-1 の鉛、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:02	及び協議してるのもあれですけど、自主的に維持するのかわかっていうのは、
1:07:09	性能に接続していないから、読み方によってはその自主的にですね。
1:07:17	ていう、
1:07:18	O K。
1:07:20	です。
1:08:11	何か不都合とかでも、これは難しい。
1:08:16	を呈する。
1:08:22	12 ページ目のフローで選定をしておるんですけども、
1:08:27	ブルーのところについては、
1:08:31	ブルーのところについてはそのまま維持します、グリーンのところについては、A を削除しますみたいな整理は、
1:08:47	ああ、そうなんです。
1:08:49	メーカーの、
1:08:52	何か、6 ページの書きの廃措置段階の安全に係るぐらいあって、うん、これ何かこれだけ読むと、緑色の方に行く前の話。
1:09:02	S P A R K L E 一般以外の防止、
1:09:05	会長が正しい。
1:09:47	ちょっと予備昨日その考え方といいますか、どここのところですか、今言ったような、原子力災害の防止のところについては日比教授ですし、それ以外は、
1:10:00	入らないんだみたいなのは、確かにうち出してなくて、単純に6 ページ目のところに書いたようなね条件の冷却、
1:10:09	ここで言う、
1:10:11	①番のところなんですけど、それは維持しますとしか書いてないので、そこについては、適正化をしないと。
1:10:22	多分、何かもう少しこのこの結果、結果は書かれてるんですけど方針とか、そういう、
1:10:32	よ、容量余裕があるものをどう削減していくかっていう。
1:10:37	今回は、はい。
1:10:39	どういうふうにしたんだっていう何か、
1:10:42	椎名をわからない考え方なんか、それを最初にバッカー頭のところ、
1:10:49	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:50	はい。まとめて書いてもらおうと、具体的にはこうこうこうですっていう。
1:10:56	このパターンで直下パターンですっていうふうにしてもらおうと。
1:11:00	理解しやすいっていう
1:11:03	なるほど、なるほどな。6ページの①②で、
1:11:08	基本方針としては、挨拶段階で握っ等、必要なこともあるもの、これについては、自主管理しますというふうには書いたつもりなんですけどもここをもう少し、
1:11:20	ぜひ、
1:11:21	ということよろしいですかね。
1:11:25	そうですねS Aのなお書き、これ多分、いわゆる予備機とは何もないので、何か記念のところが、期間しか書いてないからというかね。
1:11:44	わかりました。
1:11:46	なおってというのは、
1:11:48	ちょっと文章の書き方、この中の書き方みたいな話なんですけどなおってというのは、何か補足説明みたいな、いやいえ、これは補足説明じゃなくて、
1:11:59	必要な説明なんで、例えばしかしながらとか何て言うと、何かあってもなくてもいい情報みたいな。わかりました。失礼しました。
1:12:11	そうですね。
1:12:27	そうですね。維持台数の話はちょっと言えますよ。そこら辺をちょっと整理してもらって、
1:12:34	もう一度ご説明いただかないと、こちらも、
1:12:37	もうそれが妥当なのかっていう判断はちょっと難しいかなと思いますんで、
1:12:42	そこを整理していただければ、
1:12:47	わかりました。
1:12:54	資料1は、
1:12:58	はい。いや、さっき加藤さん聞いてたら、何となくここまでって言ったところ、
1:13:04	ずっとこれまでとニュアンス僕変わってきてると思う。
1:13:08	それどうしようかね。
1:13:11	どっかやっぱりしっかり考えた方がいいと思いますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:19	維持終了の時期、前回の廃止措置も関わった人としては、前回とちょっと変わっていないですね。そうですね。
1:13:29	配置が進んでいく、進んでってご検討が進んでいる段階で考え方が変わるっていうのは、十分にあり得ることですね。
1:13:37	あそこはそれは適宜、しっかりこの表に、
1:13:42	反映して入っていただくっていうのは、昔の人、昔の方もないけど、
1:13:49	でもそれはそれで定義っていうか考えてみましたんで、思います。
1:13:56	今回、考え方が変わるところで、以前、リカバリープランはある段階で終了させると思っていたから、名取も担当に降下するまでで一時的とかなんかそういうことを言っていましたけども、そこは考え方固めまして、
1:14:13	遮へいた上でしっかりずっと維持します、行かれたので、
1:14:18	加藤さんおっしゃる通り、維持期間自身も見直しても、特段問題は出てこないかと思しますのでそこは再度検討させてください。
1:14:33	はい。よろしければ、次資料の2の、
1:14:36	お願いします。
1:14:37	衛藤資料の2-2についてともんじゅのナンリから説明いたします。
1:14:42	この資料の2の汚染の分布の評価については、7月28日に江藤最初の面談の時にですね、
1:14:51	当然分布評価の実施概要を添付書類5に記載の測定箇所についてと、
1:14:58	測定方法及び評価結果を説明することということをコメントいただきまして、資料を作ってきたということになります。
1:15:07	ちょっと要点を拾いながらちょっとご説明したいと思います。
1:15:11	衛藤さん11ページ目の31分の3ページ開いていただきまして、
1:15:16	初めにといったところで、これ線量分布の説明をするといったところを記載しております。
1:15:24	2ポツで、汚染の分布に関する評価についてということで、
1:15:29	第1パラグラフ、第一段落目ですけども、一般的なことを記載しております、
1:15:34	周辺公衆の被ばくとか、解体撤去方法を策定するため、
1:15:39	また廃棄物の発生量を評価するため、放射能の分布等を評価すると。
1:15:46	いったところは記載してあります。
1:15:49	次の2段落目でもんじゅの1措置は、炉心に燃料が存在する状態から開始したことから、ピーフローの廃止措置の準備期間に相当する、
1:16:01	第一段階と第二段階に停止して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:04	第3段階を開始するまでに評価が完了するということを記載しております。
1:16:10	概略工程についてはちょっと後程ご説明したいと思います。
1:16:15	3ポツの汚染の分布に関する評価の実施内容についてというところを通して、
1:16:21	当間5000円の携帯のことを書いてございます。
1:16:25	事務所運転中の中性子照射によって、放射化する放射化汚染と、放射化された構造材が溶出して汚染するに条線が、
1:16:38	といったところを記載しております。
1:16:41	この放射化汚染と二次的な汚染に分けて評価を行っておりまして、評価の頃、別図2に示すといったところです。
1:16:50	これも後程まとめてご説明したいと思います。
1:16:55	まずう放射化汚染の評価はどのようになるかといったところで、
1:17:01	中性子束分布と、放射能濃度の計算による方法、まず一つ目は計算による方法で、二つ目がその経営者の妥当性を確認するためのサンプリング測定を行うと。
1:17:13	そういったところを記載しております。で、計算による方法では、中性子束分布と、放射能濃度をそれぞれ計算行動によって評価しまして、
1:17:25	A評価すると、を記載しております。その計算コードについては、
1:17:31	高速炉プラントでの解析が実績があるものと、軽水炉の廃止措置においても放射化汚染の評価で一般的に使用されている、
1:17:42	中性子束分布では2次元輸送計算コードの道路と放射能濃度の計算では
1:17:50	放射性核種生成崩壊行動を利点を使って使うということ、
1:17:56	使うことで進めております。
1:17:58	第1段階では、第2段階に実施する詳細な計算を行うための準備として、中性子束分布と、放射能の濃度の計算による方法、
1:18:09	によって評価するための、入力データとして必要となる運転利益や、設計情報を整理し、構造材の元素組成分析、
1:18:19	を実施して、設計情報を補足する、情報の調査を行っている。
1:18:25	ということです。それぞれ以下の、
1:18:28	非常に次のそういった項目の方をご説明します。
1:18:34	両括弧1で運転履歴で、第一段落目に、衛藤95年に運転が停止して、2010年に炉心確認試験が再び行われているということを記載してあります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:47	第 2 段落目で衛藤。
1:18:50	1995 年の運転停止までの積算出力が 40.02 F P D だったと。
1:18:58	2010 年の炉心確認試験の積算熱出力は 0.003 といったところ、ところ で、2010 年の炉心確認試験の放射化補正に対する影響は小さいと。
1:19:11	そういったところを記載しておりまして、そのため、運転利益としまし ては、運転停止日を 95 年の 12 月 8 日として、
1:19:22	条件としましては経験した最大の 45% 熱出力で、先ほどの 40.02 F T P を 45% から換算した。
1:19:32	88.93 日間連続したものとして消費者利益を設定することで進めており ます。
1:19:40	次に設計情報ですけども、こちらは、投機構造図や、廃止配置率をもと に、遮へいプラグを含む生体遮へい器まで、
1:19:51	の原子炉周りの体系を構築しまして、
1:19:55	設計組成やミルシートを基に、
1:19:58	燃料体や構造材の現実密度を設定するとともに、席次の情報から、
1:20:04	45% 熱出力時の中性子発生数や、原子炉内の温度分布を考慮し
1:20:11	入力条件を設定することで進めております。
1:20:15	両括弧 3 ということで構造材の元素組成分析ですけども、放射光性能解 析評価の入力 D たには今当間構造材の元素組成が来てると。
1:20:27	いったところで、建設当時の設計想定や、
1:20:31	構造材がミルシートが利用できますけども、シートに記載されているイ ベントは主要成分に限られていると。
1:20:39	高速同様に J I S 規格の範囲内で微量元素を添加しているということも ございまして、
1:20:46	これらの影響を考慮してですね、原子炉内の構造物等で利用されている 構造材を中心に、計 21 条の元素組成データの職種取得を行っておりま す。
1:20:58	これ
1:21:00	コールド材料を大洗に建設時の試験が残っていたといったところもあり まして、
1:21:06	当間放射性での一方の分析、
1:21:09	コールド剤を使って分析をしているといったことになります。
1:21:14	第 1 段階で、上記 1 から 3 のうち、運転履歴と設計情報用いて、
1:21:21	計算による放射化汚染の放射能ののを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:26	試算を実施しております。
1:21:28	試算を実施する際は、建設当時の設計組成や網戸シートから主要成分について印をしまして、
1:21:37	主要な構造材五つ、
1:21:39	いや、コンクリートにつきまして、ついでに微量元素成分につきましては、ふげんの原則製品結果を引用していると。
1:21:48	そういったことになります。
1:21:49	今後第2段階で、先ほどの両括弧3で
1:21:53	ご説明しました、構造材の元素組成分析を入力データに取り込みまして、放射化汚染の計算による方法の評価の精度向上を図ろうとしております。
1:22:06	また、計算の妥当性を確認するためのサンプリング測定については、第2段階で、燃料域に取り出す、中性子遮へい体から遠隔操作等によって、試料を採取し分析することで検討を今進めているといったことになります。
1:22:23	放射化汚染のご説明はここまでとなります。
1:22:27	次に3ポツで二次的な汚染の評価といったところで、
1:22:32	二次的なお世話機器や配管の外部からガンマ線の測定を行うとともに、施設を構成する配管や機器の材料組成を考慮して、
1:22:42	腐食生成物中の核種組成比を計算または測定によって評価すると、また一般のこと、一般的にすでに肺臓地形下を書いてあることを記載しております。
1:22:53	第2段落目からもんじゅのちょっと状況の方を、
1:22:58	記載しております。
1:22:59	もんじゅでは、管理区域内における区域区分を適切に管理するため、工夫QMS文書で定めた要領に基づきまして、
1:23:10	電離箱式サーベイメーターを用いて、管理区域全域の線量当量率測定を毎月実施しております。
1:23:19	この測定において、検出限界値である1mSvを超える測定箇所はなく、
1:23:26	放射線管理区域の設定基準である、
1:23:29	2.6mSv%と比較して、十分低い値で
1:23:35	管理区域が維持されていることを確認しております。
1:23:39	これらの結果を踏まえまして、二次的な汚染の評価では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:43	通常用いられている電離箱式サーベイメーターより検出感度が高いNa Iシンチレーションサーベイメータや、可搬型ゲルマニウム半導体検出 器を用いて、
1:23:55	より詳細な汚染状況について評価を行う方針としております。
1:24:01	第一段階では、先ほど
1:24:05	述べました2種類の放射線測定受けを使用しまして、現場のでの測定を 実施しているといったこととなります。
1:24:16	一つ目が、NaIシンチレーションサーベイメーターでして、特徴とし ましては、検出感度が高く、放射線量率が低い、一般環境の放射線量率 の測定に適していると。
1:24:29	短い時間で測定することが可能という特徴があります。
1:24:34	こちらの測定器を用いまして、2020年の7月から3月にかけて、 施設内の配管機器配管を網羅するように、
1:24:44	399ヶ所の
1:24:47	表面線量率の測定を実施しております。
1:24:50	こちらが廃止措置計画に記載の399というところとなります。測定方法 や結果につきましては、4ポツの方でご説明いたします。
1:25:02	両括弧2の可搬型ビルマ任務半導体検出器につきましては、特徴としま しては、 γ 線スペクトルを測定でき、放射性物質の種類ごとの量、
1:25:14	正確に測定できるが、
1:25:16	放射能の小さいものを正確に測定する場合は、長時間測定に、が必要に なるという特徴があります。
1:25:24	この機器を使いまして、昨年度の
1:25:29	6月から1月にかけてプラント内測定をしておりまして、
1:25:34	現在各種の贈呈や整理を行うため、
1:25:38	解析評価を実施中であるということになっております。
1:25:42	今後第2段階で、両括弧2の2による測定でやられたガンマ線セットデ ータを用いた解析評価を実施し、
1:25:54	腐食生成物の詳細な核種組成比を設定するため、放射化補正の評価でい られる核種組成比
1:26:02	や、考えたゲルマニウム半導体検出器の測定結果を組み合わせ、評価 を実施する予定であります。
1:26:10	ここで衛藤先ほどちょっと後程ご説明するとしました、工程の方に
1:26:16	を見ていただきたいと思います。11ページになりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:27	左側に実施項目、右側に年度展開で第一段階第二段階と記載しております。
1:26:35	両括弧1で放射化汚染の分布評価といったところで、まず和気計算コード野瀬。
1:26:42	選定をして、入力データの整理、そして、元素組成分析というところで、微量元素の分析を行っている。
1:26:51	A、
1:26:53	それと並行しまして、放射化汚染の試算を順次行っているということになっております。
1:27:00	⑤の計算の妥当性を確認する。
1:27:04	するためのサンプリング測定は、衛藤最終場所野菜試料を採取装置等を検討今実施しているところでありまして、
1:27:13	あります。第二段階につきましては④の
1:27:19	元素組成分析結果の、を放射光線の評価精査に反映しまして、
1:27:25	⑤で獲られたサンプリング測定の
1:27:28	結果もそれぞれ
1:27:32	反映しまして最終評価とするようになっております。
1:27:36	左側の両括弧2ですけれども、二次的な汚染の分布評価は、まずは測定方法の選定、
1:27:43	手順や、起こん、測定場所を検討しまして、表面線量率の測定、
1:27:49	ガンマ線スペクトル測定を行いまして今試算を行っているといったところになります。二次的な汚染に関しましては、放射化でいられた核種組成比を二次的な汚染に反映すると。
1:28:03	そういうところを最後に行いまして、最終的な評価結果が出るというようなことになっております。
1:28:10	1枚めくっていただきまして、
1:28:17	江藤さん11分の12ページですけれども、先ほど後程ご説明するといった、放射化汚染と二次的な汚染の評価フローというところになります。
1:28:28	左側が放射化汚染で、右側が二次的な汚染のフローをそれぞれ記載しております。
1:28:35	左上の方から順次見ていただきますと、設計情報を中性子束分布の計算に使いまして、
1:28:42	放射能濃度の計算の運転履歴元素組成使いまして、試算長だけいたしまして、資料サンプルの測定を行った放射能濃度の分析値から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:55	分析値を用いた補正を行って、最終的な放射能濃度の分布の最終値を出すというところになっております。
1:29:03	右側の二次的な汚染につきましては、NaI、この辺は前に、よろしいですか。はい。
1:29:12	もうちょっと作って、はい。
1:29:15	1課の方。はい、わかりました。
1:29:20	では
1:29:22	戻っていただきまして
1:29:25	31分の6ページになります。
1:29:32	こちらが先ほどご説明したANAシンチレーションサーベイメータの
1:29:38	表面線量率の測定についてといったところで、それぞれのどのようにやっているかといったところを記載しております。
1:29:47	4ポツの1の放射性物質の移行につきましては4月頃にも監視チーム会合等で見、
1:29:54	お話してるかと思えますけども、当別さんのようにし、示してありまして、それぞれ整理をして行っているということになります。
1:30:04	4ポツ2ですけども、
1:30:07	表面線量率を測定するにあたっては、
1:30:12	先ほどの別図3に示した移行の過程を網羅するように、
1:30:19	系統的な代表的なタンクや配管等の表面を測定しております。
1:30:24	測定の対象と機器は、ひと月あたり
1:30:28	3点の測定を行い、一次主冷却系設備、
1:30:32	等につきましては、系統網羅するようにといったところを考慮しまして、
1:30:37	石野3ループのそれぞれ50点の測定を行い合計150点を行っているということになります。表1のところに、それぞれの点数を記載しております。
1:30:49	4ポツ3で放射線測定器いいのを使ったものの使用を記載しております。
1:30:57	4ポツ4になります。
1:31:02	4ポツ4ですけども、測定方法につきましては、両括弧1から4の方に
1:31:08	示してありまして、一般的な
1:31:12	放射線管理でやられている、特定の仕方をや測定時間をとっているといったところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:19	いうことんところを記載しております。
1:31:23	4 ポツ 5 ですけども測定結果ですけども、それぞれ結果をですね 399 ヶ所測りまして、度数分包ずいきちんというところで衛藤さん、31 号の 9 ページの図の 1 に示しております、
1:31:39	そのうち比較的高かったところを
1:31:43	表 3 の方に表しております。
1:31:46	そして 1 枚めくっていただきました企業 4 のように、それぞれ各設備の最小値最大値を記載しております。
1:31:56	またですね、別部、
1:32:01	31 分の 14 ページからそれぞれ、
1:32:07	設備ごとにですね、どの辺を測ってどのような値だったかということころを、ちょっと 399 ヶ所をプロットするのはちょっと煩雑になりますので、ある程度まとめて、
1:32:19	大きい値を記載しているといったところになります。
1:32:26	戻っていただきまして 31 分の 8 ページの 4 ポツ後の第 2 段落目ですけども、主に言いたかったところは最大値で 0.44m S v で、
1:32:39	燃料洗浄槽というところで燃料を洗うところが高かったと。で、その他に高かったところはとなりますと、粉末入る水を貯蔵している。
1:32:50	粉末廃樹脂タンクや一次系等にも貯蔵しているダンプタンクにおいて、若干高い値があったといったところになります。
1:32:59	衛藤。
1:33:01	一般的な数値がちょっと
1:33:08	言いますと、通常環境ですと 0.1 マイクロぐらいが、一般的な原子力施設に限らない環境中の値となっております。
1:33:19	第 3 弾 3 段落目ですけども、測定された表面線量率の最大値は 0.44 であったと。放射線管理区域の設定基準 2.6 よりも低い値であると。
1:33:32	またこの辺りはちょっと一般的な原子炉の廃止措置で実施される。
1:33:37	いわゆる系統除染、
1:33:39	後の値よりも十分低いといったところを記載しております、もんじゅではそのような系統除染は必要ないと判断したということが記載しております。
1:33:50	こちらの会措置計画の本文 9 の汚染の除去のところにも、ちょっとそのような記載をしているといったことになります。
1:33:59	なおですけども、今回測定をしていない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:03	立ち入りが制限されている原子炉容器室等の放射化汚染が高い区域につきましては、そもそも主要な汚染形態が放射化汚染といったところで、母材そのものが放射化されているといったところになります。
1:34:17	で、除染を行う除染というのは表面の放射能を取り除くといったところですので、
1:34:24	今回測定できなかった、大坂が高いところは、そもそも除染しても、
1:34:31	被ばくを低減することができないところといったところになります。
1:34:37	31 ページ目の 10 ページですけども、まとめというところを記載しております、
1:34:46	第 3 段落目からご説明します。
1:34:49	今ご説明した通り、系統除染というものは行いませんが、解体工事、
1:34:56	解体作業を実施するたい負債は、合理的に低くなるようにですね、
1:35:02	空気呼吸器等の作業環境に応じた報告着用して、計画管理線量を定めて、放射線
1:35:12	を被ばくを低減させる措置を実施いたします。
1:35:15	また、クリアランス化を含む、
1:35:19	放射能レベルを低減するために行う汚染の除去は、除染の際、対象を定めて、適切な除染方法、完了要件となる目標を策定し、
1:35:30	実施する予定です。
1:35:32	この汚染の分布につきましては、第一段落会に引き続き第 2 段階においても、より精度の高い評価となるよう、継続するといったことを記載しております。
1:35:46	ご説明は以上になります。
1:35:50	はい、ありがとうございます。院長側からもコメントありましたらお願いいたします。
1:36:00	この作業の第 2 段階で、
1:36:03	第一段階で違う点っていうのは、最大、
1:36:08	原野サンプル最終。そうですね。はい。ですかね。はい。それ以外については今、第一段階で、調査者結果をもとにもより詳細な
1:36:20	そうですね進めていくと、いうことなんですかね。はい。
1:36:28	この第一段階に引き続き、より精細な精度の高い評価となるような評価を継続するっていうのは目的としては、どういう目的なんですかなかもう助成しないってことは、
1:36:39	決めたみたいな書きぶりになって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:41	そうですね
1:36:43	最終的には一般公衆被ばくとか、そういうところ R A W の評価に繋がっていく。
1:36:51	ところになりますので、正確な値を出す必要があると思ってますので、精度の高いもの、
1:37:00	に持っていくというところですよ。
1:37:04	粗相詳細評価の結果と元に第二段階中に、この
1:37:11	第 3 段階において実施する、解体の牧場食う評価とかそういったことをしていくと、いうそうですね、はい。
1:37:26	それで、ここだけ非常に、
1:37:31	質問で申し訳ないんですけどなんかも、
1:37:34	中性束分布を同等であって、二通り元計算されてるってことで、
1:37:41	多分、かなり詳細に計算、
1:37:43	してるんだろうなと、この辺専門じゃないのでわかんないんですけど。
1:37:47	今んところ
1:37:49	炉外のところ外っていうか、系統はすごい汚染は低いと。はい。だから、作業するのにもそんなに、
1:37:59	問題ないだろうということなんですけれど。
1:38:03	この遮へいたのところって、行動とか折り合いで計算すると、
1:38:09	今どれくらいだと、大体ざっくりやめて当たっても当たってなくてもいいんですけど、どのぐらいの線量なりそうっていう、一つに今、統計等は 1 マイクロ 1 課ぐらいなんですけれど、
1:38:23	秋田、その辺の何倍ぐらいなるはい。江藤表面で数 m S v とかそういう、
1:38:30	何十 m S v とか
1:38:32	m S v オーダーですね。
1:38:34	仙波委員。
1:38:36	ライトマイクロの 1000 倍、
1:38:38	くらいですかね。
1:38:40	それわあ、例えば診療部機構あたりも、そんなもん、今ちょっとお話ししましたが、
1:38:48	しゃげた 1 本取り出して、頭表面は、
1:38:51	それぐらいという

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:53	イメージでお伝えしました。だから
1:38:59	ちょっと遮へいプラグを取り除いたとき、
1:39:04	とかはちょっとまだ即答できることはないんですけども
1:39:09	それ、そんなに低くはないというのが頭ですかね。そういうことはだから、ミリぐらいなんで2000前ぐらいになるけれど、例えば、
1:39:24	ですよねミリでしょ、ミリだから。
1:39:28	例えば、ぶっちゃけぶっちゃけすごいあらい方すると、上場とかふげんとか今は、
1:39:35	常陽は1回MARICOで、文書引っこ抜いてるんで、国の線量貼ってるんです。だからそこから見ると5桁ぐらい来るっていうかな、大体認識。
1:39:46	それがビジョン小さいと。
1:39:49	いうことで、
1:39:50	そうですね小さいですけども被ばく上はちょっと大きいかなと。
1:39:56	思ってますので、
1:39:59	口のところをいじるときはちょっと
1:40:04	が違ってることですよ。はい。後、5桁ぐらい小さい。
1:40:12	わかりましたありがとうございます。
1:40:19	これどんどんその書き方見ると、
1:40:35	廃止措置計画なんて書いてます。
1:40:42	と大体今説明したようなところが、衛藤。
1:40:46	要所要所で書いてある。
1:40:48	というかね、
1:40:51	廃止措置計画私は前半しかなくて、何か、
1:40:56	後半があるんですよと。
1:40:58	で、
1:41:01	何かの系統、系統冷却あたりは確かに図ったと。
1:41:06	で、
1:41:07	確か
1:41:08	何だっけ。
1:41:09	測定箇所を書いてある。
1:41:12	ちょっと、
1:41:13	そって箇所までは書いてないです。はい。
1:41:17	それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:20	現実。
1:41:22	だから、そうすね関心事項はこれからです。岩切和気より、だからこれまで測ったことはわかりましたと、計算してるものわかりましたと、よく調べてやってくれてそれで終わったと。
1:41:35	この先、どういうスケジュールで進みますかね。
1:41:40	一番関心事項で、はい。
1:41:43	これが 2030 年に第二段階が O K。
1:41:47	そこまでもう 1 回なんかこう半分、
1:41:53	そこ 2、どういうことが書かれてくるんですかね。
1:41:59	だから、第 2 段階、
1:42:02	代わりに第 3 段階の廃止措置計画って多分出てくるのかな。解体計画ってのは多分人って出てくんですよね。はい。それが後半の方。
1:42:14	そうですね。第 2 段階中に県として第 3 段階に入るまでに、いやそうそう。だから、もうワンクッション、だから、前半等から後半で、いえることやって、それで、改定計画っていうのか、
1:42:29	できてて、それが第二段階し出てくるし。
1:42:32	そうですね。はい。
1:42:36	今日の資料の構成表、それから、31 ページ 11 ページ。
1:42:46	という方が、中性子配当しかかからないです。
1:42:52	もっと他に払ったから、
1:42:55	測定しない。
1:42:57	伊勢社長。
1:42:59	今のところ中性子遮へい体を予定してまして、今日のちょっと資料とかには入れてないんですけども性能試験中の、
1:43:09	江藤、金箔を入れたりとか炉内に入れたりしているところで、中性子束分包 o r
1:43:17	えっと評価しているというところもありまして、とすると、今回した計算、一致しているなという感触をしておりますので、
1:43:28	基本的に
1:43:30	中性子遮へい体だけで、を満足するのかなと思う。
1:43:35	注水してあげたところ、一番力を注ぐかといろいろあるんです。はい。櫻井谷津衛藤。
1:43:42	4 層、内側から 1234 層とありますのでそれぞれ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	等散布するところを決めて、その4数どこからも取ろうを考えているところ です。はい。
1:43:56	だから、江藤数值っていう趣旨がよくわからないんで、
1:44:00	それをまたそれ説明していただいているのかなと思います。
1:44:06	それでとにかく計算等、
1:44:08	その中性子実測で、
1:44:10	ある程度できると思ってるってことですね。そうですねはい。原子炉容 器から、何かの、
1:44:17	構造物。
1:44:19	慎重にコールと遮へい放射化ますけどね。
1:44:22	そうですね。はい。
1:44:25	それをもって解体ということに反映すると。そうですね。はい。
1:44:34	いろいろ工程は第二段階でこれ、10年文化という中ではわからんけど、 現状はこれで駄目とは言わないけど、
1:44:44	これから少し詳細に議論していただけるように、
1:44:49	はい。はい、いいですね。特にこの下げ遮へい体のサンプリングのとこ ろというイメージですか。いや、いや、要するに最後の菅です。
1:44:59	はい。ちゃんとこちらとしても理解できるような形で来るでしょうか ら。はい。そういう物を受けてその工程もね、ITさんとしても、2010 年、
1:45:10	わかりました。はい。
1:45:13	ステロイドでどこに使った。
1:45:16	制御棒の
1:45:18	駆動部とか、そういうところにも使われておりました、
1:45:24	というあと、
1:45:27	市、
1:45:29	エントランスノズルのはまるところとかもですね。
1:45:33	入っていたと思いますんで、ちょっと、
1:45:36	正確には置いてないんですけどもそういうところまで調査している。
1:45:41	も言いますので、はい。
1:45:44	さっき、大洗残ってる部材っていうのはね、燃料部材の話、
1:45:50	燃料を構造物材ですね、原子炉容器の。そうですね。はい。これ月曜日と サーベランス時代が入ってるんでしょうか。
1:46:00	そうですねでそれを測ったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:02	それわかんないですか、今のところちょっと。
1:46:06	パクるつもりはない。はい。そう。
1:46:10	いや、せっかく入ってる。八田。
1:46:14	ていう、この第二段階ではかるか、衛藤高速炉の開発とかそういう観点で第3段階で取り出してはかるパート化はちょっと検討事項かなと。
1:46:38	はい。それでは、1番目は、
1:46:43	はい。
1:46:46	はい。
1:46:47	それでは資料3の恒久的な措置について、山本です。
1:46:52	資料3についてご説明させていただきます。
1:46:55	一つはじめにはですね
1:46:59	すでに0前野氏、1月の監視チーム会合でこちらの内容はご説明させていただいてるところではあるんですけども、今回保安規定を申請させていただいたというところでこちらの資料の中で、
1:47:11	その内容をご説明、改めてご説明させていただくと。
1:47:15	そういった趣旨でございます。
1:47:17	それから、2ポツですけども、恒久的な措置の中身について記載させていただいております。
1:47:24	まず冒頭規制要求にある、そのもんじゅの保安規定の審査の考え方の7のところでは、
1:47:32	恒久的な措置として措置をなさいというところが定められておりまして具体的には炉心に核燃料物質を装荷しないことといったことが
1:47:43	記載されております。
1:47:45	第2段階における遮へい体の取出し作業というのは、第1段階の燃取の作業とですね、同じ設備を使うということと、あと経路、同じと。
1:47:56	ということがございます。そういった観点から、燃取セキュリティの撤去ですとか炉心からの移送経路を物理的に切ってしまうというところは事実上困難な状況でございます。
1:48:10	従いまして、下の①②に記載しております通り、恒久的な措置としては新燃料貯蔵ラックから炉心までの移送経路を閉鎖すると。
1:48:20	いうところを措置といたします。
1:48:23	①ですけども、こちらはこの現状をちょっと記載させていただいておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:29	遮へい体、取り出す作業は先ほど申しあげました通り、作業としてその経路をちょっと使用いたしますので閉鎖はできないという状況でございますが、
1:48:39	なお書きにあります通り、当該その移送経路はですね、
1:48:46	仮にすいません
1:48:48	使用済み燃料貯蔵ラックに貯蔵されている燃料体を移送しようとした場合、水中のその貯蔵ラックに保管されているものをR V内に移送しようとして。
1:48:59	水移送する必要があると思いますがそれにはその水分を除去して乾燥させる必要がありますが、現状そういった設備は現有しておりません。事実上困難な状況でございます。
1:49:10	それから②ですけれども、新燃料貯蔵ラックの移送経路ということで、新燃料貯蔵ラックにあります燃料体の移送経路を必ずし地下台車を經由いたします。
1:49:22	そういったところから地下台車の新燃料移送機の案内管にカトウすることによって輸送経路を計算いたします。
1:49:30	ただ、1. 新燃料の放射線測定を実施する場合はですね、今申しあげました新燃料移送機あんないいかも。
1:49:40	措置をですね一時的に解除する必要があると思いますので、そういった場合は、廃止措置主任者の確認が必要というところも、あわせて保安規定に規定させていただいております。
1:49:52	簡単ですが説明以上。
1:49:55	はいありがとうございました。議長。
1:50:08	はい。よろしければ資料、
1:50:13	はい資料4について、それから、方です。
1:50:21	元資料。
1:50:25	廃止措置第2段階における運転員の体制についてということでめくっていただいて7番の伴の2ポツから説明させていただきます。
1:50:34	もんじゅの廃止措置だんだん第一段階に受けにあたる燃料体取出し期間においては、保安規定第15条の運転員数について、1億当たり5名譲渡してきました。
1:50:46	これは廃止措置以前の同規定における、原子炉の状態が低温停止燃料交換時の要求と同じであり、炉心に燃料が存在する状態での特殊な配送事項であったものでは、もんじゅ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:00	原子炉未臨界維持、
1:51:02	崩壊熱除去等、プラントの安全機能要求を満足しつつ、安全な燃料体取出し作業を実施する上で必要な体制として維持してきました。
1:51:13	一方1年第2段階におけるもんじゅのブランド状態は、燃料体取出し作業の患者、
1:51:22	液体ナトリウムの維持範囲が縮小し、すべての使用済み燃料が燃料池に貯蔵鑄造された状況であり、想定される事故としても廃止措置計画認可申請書の一次冷却材漏えい事故、
1:51:37	燃料取扱事項は、周辺公衆に対して著しい放射線被ばくリスクを与えないことを評価する。
1:51:44	また、これらを含むもんじゅで発生し得る主なトラブル時に、早期復旧を要する動的がなく、
1:51:52	運転員による事象対応は中央制御室内、燃取操作含みますけども、こちらでの状態監視が主となり、廃止措置第一段階以前と比較すると、
1:52:05	中央制御室での操作対応運転員の1名を削減することが可能となることから、運転員の体制は、1直当たり4名以上とします。
1:52:16	トラブル時の運転員の対応は次の通りでいずれの場合も対応が成立することを確認しておりますということで、次ページ以降に、7分の4ページ以降に想定される事項、
1:52:28	廃止措置計画の方で想定される事故2件について説明しております。
1:52:34	まず(1)で一次冷却材漏えい事故ですけども、溶融ナトリウムの貯蔵箇所は原子炉容器のみであり当該機器から、
1:52:44	ナトリウムが漏えいした際はガードベッセルにナトリウムが収納される、運転員の対応として当直長は通報訓練を行うとともに速やかに、
1:52:54	遮へい体取出し作業等を充実させ、
1:52:58	運転員は警報監視、パラメーター確認状況報告が主となりこれまでの漏えいループの循環停止措置、
1:53:07	ドレン操作、原子炉容器のナトリウム、くみ上げ操作等の対応はございません。
1:53:14	(2)の燃取事項ですけども、燃料域での燃料取扱作業中に何らかの原因にて燃料体が破損した際は、
1:53:23	到着懲罰を連絡を行うとともに、
1:53:27	速やかに当該作業を中止させ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:30	運転は、モニター及び燃料池水、水温の確認監視、状況を、が主となります。
1:53:39	次にその他の事象いきます。その他の事象として燃料池に関する事象、原子炉施設への影響範囲が広い事象として燃料池野大規模漏えい。
1:53:51	外部電源喪失、全交流電源喪失、地震火災について説明いたします。
1:53:56	まず(1)ですけれども燃料池野大規模漏えい、こちらについては事象発生時、
1:54:02	当直長は通報連絡を行うとともに、速やかに作業を中止させます。
1:54:08	運転のモニター及び燃料池水水温の確認、監視、
1:54:14	状況報告等を主として必要に応じて遠隔による給水操作を実施いたします。
1:54:21	(2)で外部電源喪失ですけれども、送電線遮断機の開放により大外部電源喪失となり、
1:54:29	ディーゼル発電機の起動状態を含む、中央制御盤の状態確認、
1:54:34	モニター及び燃料池推移するような確認監視、状況報告等を実施いたします。
1:54:42	次ページいまして(3)で、全交流電源喪失。
1:54:47	外部電源喪失に加えて非常用ディーゼル発電機動作不能により全交流電源喪失となり、
1:54:55	燃料系冷却の強制循環による崩壊熱除去機能が完全で、使用済み燃料が十分に冷却されない恐れや、計装電源が失われ、
1:55:07	プラントの完成ができなくなる恐れがある場合を想定しております。
1:55:11	運転員の適切な操作により、燃料池の種使用済み燃料損傷を防止します。
1:55:17	初期対応としては通報連絡状態確認、燃料池の水位水温の監視、
1:55:24	報告であり、事象数、事象の収束に向けた対応として、安全系直流電源の負荷制限、非常用交流電源の復旧等の後、
1:55:36	燃料系の強制冷却を再開するとして、
1:55:40	(4)地震火災ですけれども、こちらについては福井県敦賀市の進路に応じて次の対応をとります。
1:55:47	震度1から3については警報武藤漏えい、ナトリウム漏えいの有無を鎖線モニター異常の有無を確認します。
1:55:56	震度4では震度1から3の先ほどの対応に加えて全、全区域の巡視点検による異常の有無を確認いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:07	震度 5 以上は震度用に加えてディーゼル発電機程度起動試験を実施します。
1:56:12	また、詳細については発生に伴う通報連絡、警報監視、
1:56:18	状態監視を行い現場へは初期消火活動として助手消防 40 名。
1:56:25	内訳ですけど指揮者として運転員 1 名、その他警備員救命等を配備いたします。
1:56:31	火災に伴う現場の当初対応が発生した場合は常駐消防要員とした運転以外の 1 名が対応することとし、
1:56:39	ということで次ページ以降に、表 1 としまして、事象の
1:56:44	各事象の廃止措置団第二段階での対応事項に対する運転員の内訳を書いております。
1:56:51	先ほど文言で申し文書で申した通りの内容を整理した形で書いており、
1:56:59	説明は以上になります。
1:57:01	はい、ありがとうございました。規制庁側から質問、コメント等ありません
1:57:10	常時止めて欲しいです。
1:57:15	はい。
1:57:17	もともと二名、田井。
1:57:20	行政の体系化法人数二名というところについては変更しておりませんので、
1:57:25	文言について、理由と変更。
1:57:28	を出す予定はない。はい、わかりました。はい。
1:57:40	はい。
1:57:44	はい、ありがとうございます。
1:57:48	はい、じゃあ、続きまして、
1:57:51	資料。
1:57:52	説明をお願いします。
1:57:55	はい。資料ですけど門田山木でございます。
1:57:59	今これまでもんで内で行ってございました試験炉のボーリング作業について、もんじゅの保安規定上、どのように管理しているのか、茂木が何をしていたのかといったところを、
1:58:11	を簡単に整理して参りましたのでご説明させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:15	3分の2ページでございますけども、ご存知のように、この試験炉に向けたこのボーリング、地質調査という作業はですね、もんじゅがやっているわけではなくて、原子力機構の中では新試験研究の準備室と、
1:58:30	いうところが民間の調査会社という契約を締結して、実施させているという状況でございます。
1:58:39	その中でですね、
1:58:41	作業場所本部の敷地内ということもございますので、上の四角の中で、我々の保安規定との関連作業との関連性をご紹介します。
1:58:53	今申し上げました通りボーリング作業は
1:58:56	本所の本活動ではないんですけども、敷地内の作業といったところも踏まえまして、保安規定に準拠する形で、この当該作業員に対してまず保安教育を実施しております。
1:59:08	またですね災害ですとか人身事故が発生した場合もですね、保安規定に同じく準拠しまして、QMS文書に基づく通報連絡の対応を図ると。
1:59:18	いったところが保安規定の関係で違います。
1:59:22	左下でございますように、ボーリング作業の実施区分でございますけども、まだ段階としては試験の建設場所というのは未定でございます今選定している状況。
1:59:34	なっております。
1:59:36	二つ目の矢羽根として、この準備室はですね、ボーリング場所の選定設計等を実施しております、
1:59:43	問10は何をしていたかという後、現場作業に関する安全管理のみを、当該準備室から依頼を受けて実施しておりました。
1:59:52	先ほど申し上げました通り、その現場の中でトラブルが発生した場合はですね、初動としてはもんじゅが対応するという決めを行っていましたが、
2:00:02	その後の対外対応等につきましては準備室型実施すると。
2:00:07	いう体制で進めておりました。
2:00:09	右側ですね通報連絡経路でございます。
2:00:15	簡単に紹介させていただきますと、発見者は、もんじゅの通報連絡、従いまして、何かあれば、面積、時間外であれば免責時間内であれば、施設保安課に連絡すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:28	いうところと、そこからもんじゅ内の連絡体制、所長を含めたところに通報連絡行くことになりますので、何かあればもんじゅ内ですべてその情報が回るという体制を組んでおりました。
2:00:44	はい。
2:00:45	続きまして、1枚めくっていただきますと、具体的な業務として、準備室ともんじゅで、それぞれ分けてどのようにやっていたのかというのを表でまとめております。
2:00:59	左上の準備室の業務としては、上にあります仕様書の作成とか契約関係から始まりまして、上、現場着手日の調整それから三つに作業要領書の策定、
2:01:12	品質工程進捗の確認ですとか主に現場管理的なところを、
2:01:19	準備室が担当しております。
2:01:21	もう一方でもんじゅはですね先ほど少し申し上げましたが、現場の安全管理というところと、保安規定に準拠する保安教育、それから通報連絡の短初動を担当しております。
2:01:34	具体的な中身としては、受注者から出される安全管理計画書の合議をしたりですとか、
2:01:40	構内に入るための手続きですとか、保安教育で現場の安全管理として、現場で日々行われてるKY活動に参加したりですとか、
2:01:50	現場に常に行ってですね、安全統一ルールが守られているかという確認を行ったり、
2:01:56	そういったところをやっていた次第です。
2:01:59	体制としては、右側でございます通り、頭がその準備室でございますしてその中で、もんじゅの施設保全課が現場作業の安全管理を担当していたと。
2:02:10	というような体制でございます。
2:02:13	簡単ですが以上。
2:02:15	はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、
2:02:19	等ありましたらお願いします。
2:02:47	よろしいですか。
2:02:50	これももう一度
2:02:52	対応してるのは
2:02:55	3ページに書いてある、
2:02:58	施設保全は、はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:01	保安教育の、
2:03:05	ていうとかそういったところも含めてやってる。はい。そうですね。はい。はい、わかりました。
2:03:18	よろしいでしょうか。
2:03:20	はい、ありがとうございました。
2:03:24	続きまして、資料6の説明をお願いします。
2:03:29	資料6は本日から説明します。
2:03:32	佐藤さんをお願いします。
2:03:35	はい。
2:03:37	通話ホームの技術グループの高尾と申します。衛藤。
2:03:42	今森野もいますのでそこから説明いたします。
2:03:45	資料どこはナトリウムを含む洗浄廃液のか、管理方針でございます。9分の2ページをご覧ください。
2:03:56	えっとですね、この説明なんですけれども、
2:04:00	ですね。
2:04:02	2022年の4月22日の規制庁の面談の時にですね、
2:04:08	セメント固化装置の福間廃棄体の作製装置を、まだ野田導入時期をですね、第二段階後半以降としても、
2:04:20	この廃液を貯蔵してるんですねすいません。高尾さんすいません、ちょっとねカメラ映るところにちょっと移動して説明してもらえませんか。見えるかなと。
2:04:31	こっちが。
2:04:32	はい。
2:04:35	いいですか。
2:04:41	すいません。はい。今、
2:04:44	左側証明いますので、9分の2ページをご覧ください。
2:04:54	今セメント固化装置のですね導入時を含む廃棄体作製装置の導入時期を、第二段階の後半以降としてもですね、
2:05:06	蒸発廃液を貯蔵している廃液濃縮液タンクの貯蔵容量は、13立米を超えることはありませんっていう説明をさせていただきましたけれども、
2:05:18	その根拠についてですね、説明するよう規制庁よりですねコメントをいただきましたんで、今日はそういった位置付けで説明をいたします。
2:05:30	それですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:34	表 1 から図 1 図にですね記載している内容ですけれども、表 1 はですね、燃料体の移送経路がなんですが、最初は炉心にあって、
2:05:48	最終的には燃料池の方に行くわけなんですけれども、これを対応する図がですね、図 1 に示してある燃料体の移送経路でございます。
2:06:00	炉心にある燃料が燃料交換装置の内中継装置につきまして出し入れ機を経てですね、
2:06:08	燃料洗浄設備で転用される旨記載してございます。
2:06:13	それから図 2 の方ですけれども、これは洗浄廃液の発生のタイミング、どこで発生するかについて記載してございます。
2:06:23	燃料体の洗浄の場合は燃料洗浄設備、図の 1 でいうとですね、⑦のところで、燃料体の線量設備、
2:06:34	より洗浄廃棄発生します。
2:06:37	この洗浄廃液というのが表の 1 の⑦のところに書いてある、A って書いてあるところに対応しております。
2:06:47	あと燃料取扱設備の洗浄でございますが、共通補修設備の年定期的洗浄槽で現れて発生いたします。ちょっとずつ表し切れておりませんがそこで発生します。
2:07:02	排水タンクに貯蔵されます A B C D は、上の表 1 のですね、燃料体取出しのところに下に書いてある、
2:07:12	炉内中継装置のとかの、A B C D と書いてますが、
2:07:18	ここで要するに燃料体のナトリウムは、燃料交換装置とか、炉内中継装置だとか、燃料出し入れ機のドリップパンに移行してですね。
2:07:30	それが現れます。洗浄されますして記載してございます。
2:07:35	最終的にはですね、後背 A K のですね、廃液濃縮液タンク、洗浄廃液を保管されている状況になってます。これは第二段階終了時点でも、
2:07:46	1030 日を超えないという説明をしたいと思います。
2:07:50	9 分の 3 ページをご覧ください。
2:07:57	新構成要素の取り出しでですね付着ナトリウムというのは、一部が燃料取扱設備に移行し、残りは燃料洗浄設備に取り込まれて洗浄廃棄に移行します。
2:08:12	これが表に記載してございます。
2:08:17	形のここに作業名が
2:08:21	炉心構成要素の取り出し作業、言いだし本設備点検、あと年処理前の準備ですね、連結作業後連携というように

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:33	層理時作業の時系列というかそれが長い別表に書いてあります。K-2345 って書いております。これは 1 ページ目ですね、
2:08:45	①までに、のところに対応するように記載しております。
2:08:52	ポイントはですね、ね、
2:08:58	洗浄を廃棄の発生のタイミングです。
2:09:03	いわゆる燃料取扱設備っていうのは移行ルートのところを書いてある、燃料交換する中継装置と書いてあるところでございます。この発生のタイミングですが、
2:09:17	言いだし本設備点検というところで燃料出し入れ機の機器の展示を行います。
2:09:24	あとはドリップパンの洗浄時ですねこのタイミングで洗浄背景発生しますんでこれは A B C D というふうに記載しています。1 ページ目の図 2 の A B C D に対応します。
2:09:38	あと燃処理のところも発生のタイミング、これ C のところで発生するって書いてますけど、安達力の洗浄のところと、
2:09:47	あと、燃処理作業集ん事ですねのところで、線量廃液が発生する記載しています。
2:09:56	あと炉心構成要素ですけども、燃処理のときに、正常背景が発生します。軽度な⑦って書いてあって飯野洗浄廃液の移行のところですよ。
2:10:08	これも 9 分の 2 ページ対応するように書いています。
2:10:12	それで表 3 はですね、移行量の実績値は / d a y ます。
2:10:17	同じように A B C D という感じで、実績値をそれぞれ記載してございます。
2:10:25	それから、注文の 4 ページです。
2:10:30	それで後程ですねも 2 炉心、
2:10:34	毛利稔で模擬燃料体の洗浄性確認試験とかあと 8 月でやった J I S 規模の
2:10:42	実践上の試験のお話とかさしていただくんですけども、その前提としてですね、炉心の構成を
2:10:53	構造上の観点で、どういったところにナトリウムがたまりやすいかとか、
2:10:58	あとざっと理由のその物理的な関係ですね是正ってよく読んでるんですがその関係がですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:07	ちょっとここ、まずはここ、現象論というかそういうのをちょっと考察したものが9分の4ページでございます。
2:11:17	それで、表ように書いてるんですけども燃料体ってのは危険を直列で取りとり、
2:11:25	当たった状態では取り扱われます。
2:11:29	燃料金の中に、トラパーカーの中に燃料日が入っている状況ですんで、ここで書いてあるのは特にナトリウムがたまりやすいのは、
2:11:42	鉛直狭隘部って書いてあるところです。
2:11:45	泥土場所はどこかと申しますとこの下の図の欄にございます。
2:11:51	これ燃料齊藤向け燃料体の比較した断面を比較した絵なんですけど、
2:11:59	B Pさん。
2:12:00	このチャンネルって書いてあるのは、燃料品の囲まれたチャンネル狭い狭隘部。
2:12:08	P Wってというのは、ピンとラッパーに囲まれた。
2:12:12	どこをこういった狭いところに名取もたまりやすい。
2:12:17	と考えられます。それで、燃料体に比べて模擬燃料体はですね、ファイアースペースはございませんので、狭隘部は狭いですということで、
2:12:28	ナトリウムが多分やすい構造になっているのではないかとということで、試験を行っています。この図の4はですね、集合体試験の結果の状況でして、
2:12:41	たまたま傾向としては、品の
2:12:45	なお、このサブチャンネル業界、狭隘部流れ方、連続した付着と書いてます全体的に薄くですね、ピンのところにナトリウムが付着して、
2:12:56	るんですけども、特に各ですねクラスター下部のところは、表面張力の影響で、
2:13:04	チャンネルの閉塞が認められるといったものがいられました。
2:13:10	それから、こういった現象はですねちょっと物性上の観点から検討するとですね、濡れ性っていうのは、物量として設置区画という数字で表されます。
2:13:24	下に実験結果がグラフで書かれておりますけれども、200°Cと500°Cのところ見ていただくと、
2:13:33	接触角は、大体130度から140度ぐらいのところからだんだん小さくなっています。
2:13:41	接触が大きいほど、よくはじく傾向があります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:47	いわゆる衛生が悪くて温度厚くと衛生はよ、良くなってますっていうことを表してる図面でございます。
2:13:56	だから、ざくっと言うと、昔の要するに性能試験ですね平成7年とか5の、
2:14:06	500°Cを経験してるような部材ですと、ナトリウムはここつきやすい状況でして、最近模擬体2とかのものですと、
2:14:17	都°Cしか経験してませんのでナトリウムが弾きやすい。
2:14:21	表面肉付き抜きにそういった下郷栄子ことが考えられますというこういう考察をいたしました。
2:14:30	4 ページ目ご覧ください。9 分の 5 ページ目ご覧ください。
2:14:35	そういったことを考えながらですね、炉心構成要素のナトリウム付着量の評価っていうのを行いました。
2:14:49	警告こういった考察をしていくとですね、燃料ピンがらパーカーの中に多数ある多数本クラスター型、
2:14:59	そんなそれほどない少数本クラスター型、あと B 自体がね単体構造型っていうふうに分けることができます。
2:15:10	それで、こういうふうに分けてあってですね。ただ兵庫の模擬燃料体のところだけは、データがなくてですね、
2:15:23	あと炉心燃料集合体よりも、狭隘部が狭いということで、
2:15:29	実際模擬洗浄試験を行いました。
2:15:33	これを行いまして、結局ですね、ナトリウムの付着量の評価っていうのは、模擬燃料海外は実測値とか、
2:15:44	あと形状で、もうこう数字をこう決めてあげてるんですけども、模擬燃料体付けは、
2:15:50	8月の線量実績は149グラムっていうふうに今書いてますが、
2:15:58	1体しかやってませんので、保守性を見てですね250グラムっていうふうな設定でですね、第2段階の約330体の計算をやるということに、
2:16:12	一応決めました。
2:16:15	9分の6ページをご覧ください。
2:16:18	根井
2:16:20	こういった感じで、廃液蒸発、
2:16:24	液量の予測をしました。それで、その結果ですね、
2:16:33	ダイエー刀禰第二段階の第3回処理のところで、とそ作業後の創造ということで大体11立米ちょっと超えるぐらいになってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:45	廃棄の収益タンクの容量の中 30 名に比べて、こういうことはありませんという評価をしております。
2:16:57	これ前回ちょっと説明 4 月にした時こういったグラフとかちょっとお示ししてなくて、推移がわかる、グラフというかそういうものをここで示してあります。
2:17:09	あとですね、今後の農地の管理方針について、9 分の 7 ページに書いております。
2:17:17	二段階目で発生する遮へい体取出し作業で発生する洗浄廃液。
2:17:26	濃縮所ですって廃液濃縮液タンクに貯留しますけれども、13 立米を超える恐れはないだろうと。
2:17:36	いうことは評価はいたしましたけれども、
2:17:40	二段階入ってからもう処理を行いながら、燃料貯蔵槽の水素濃度だとか、あと共通募集設備の廃液の分析はサンプリングを定期的に行ってま
2:17:58	確認していくと
2:18:01	線量背景に行くまで刀禰
2:18:05	ナトリウムの付着量が、想定より多いか少ないかがちょっとわかって参りますんで、それをちゃんとルーチンワークとして確認をして参ります。
2:18:15	それで、
2:18:18	結局ですね、ここでずっとこれ表の図の 7 の下の方に参りますと、背景の廃液濃縮液タンクっていうのは、第 2 段階終了までは、収納可能だろうと思っておりますけれども、
2:18:33	第 3 段階内入ると、間違いなく収納ができないといったことはちょっと、
2:18:40	と思いますんで、そそういったそういった処理についてですね。
2:18:47	解体に伴う解体物洗浄設備って書いてますけど、相対に伴い発生するなというふうな廃棄をですね、
2:18:56	どのように処理するかについて、
2:18:59	具体的検討をですね今後とも詰めて参ります。
2:19:04	9 号の 8 ページが、これまでのまとめを変えています。
2:19:09	ちょっと繰り返しになりますんで、一応、今回、申し上げたかったことを 4 点でまとめております。
2:19:17	それから、最終ページの 10 分の 9 ページですこれ参考資料で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:22	模擬燃料体の線量性確認のための試験結果を書いています。
2:19:28	表のところに、
2:19:31	まずですね 8、2020 年 8 月にですね、実機の洗浄試験を行いました。兵庫洗浄した結果、ナトリウム付着度 149 グラムになりました。
2:19:45	それでこの下の表で言うと、実機の 1000 模擬燃料体の確認試験というのは、要素試験、市中央耐試験、実機線量体洗浄試験という段階を踏んでやって参りました。
2:20:01	それで、
2:20:03	要素試験はナトリウム付着状況のみの確認、それから集合体試験は、
2:20:10	付着状況の確認と、残留したナトリウム量までは測定いたしました。
2:20:16	実機洗浄試験は実際のもう通常の手順です。通常ね燃処理の手順で、洗浄を行いましたということが書いてます。
2:20:27	それで、仕様値の試験の位置付けなんですけど、一番下に開票の最初に書いてますけど、これはあくまでも
2:20:38	燃料洗浄設備の
2:20:41	帰着ナトリウム量の想定というのは 500 グラム以下っていうのはあります。
2:20:47	そのための試験です。それで、品の部分の付着量の評価実機に模擬して模擬したものと、
2:20:58	あと P の部分と、あと、燃料体は、P の部分とラップ紙も全部加えましたということで、仮 S a a S を加算した死産自体もかなり保守的な値で、
2:21:14	415 グラムっていうふうに評価して、
2:21:17	一方で今回は通常試験で通常手順でやってます。
2:21:22	も燃料体に付着するあと流量の評価としては、もうこれをもう用いるのが妥当だと思っております。だから、第 2 段階でも何でも同じような値なのかなっていうふうに予想されますけれども、
2:21:36	ただやっぱり保守性を持たせて、濃縮廃液量が多めに算出評価するのは、保守性がありますんで、
2:21:48	まずは、燃料集合体の評価値の 250 グラムで設定してですね、それでさっき言いましたけど、濃縮肺炎と同量が、
2:21:59	13 立米を超える可能性は低いだろうというふうな評価を行いました。説明は以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:08	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質疑応答ありましたらお願いします。
2:22:16	すいませんカトウですけども、まだちょっと基本的なところを教えてくださいたいんですが、
2:22:21	7 ページ目、まとめのところまで3 ポツ目で、
2:22:26	はい。今後も燃料洗浄設備での水素濃度及び、廃棄物によりってなるけどこれ水素濃度ってなんで、ちょっとこれでわかるんでしたっけ。
2:22:38	えっとですね、まずは燃料洗浄設備に洗浄槽に水素濃度計が出てます。それで、水素濃度、水素濃度の差から、
2:22:52	そうですね、ちょっとお待ちください。
2:22:55	ちょっと9分の9 ページ、いただけますか。
2:22:58	9分の9 ページの実機洗浄試験の
2:23:02	ところに、ナトリウム付着上で149 グラムって書いてあって、
2:23:09	これ水槽の時計がついてまして、天井前後まず水素濃度を出しますんで、これを松村判断する式っていうのがあります。
2:23:20	で、この換算式っていうのは、
2:23:24	旧1994年か5年ぐらいに行いました。喫煙、燃料洗浄設備の総合機能試験において、データ取りしてます。
2:23:37	水素濃度から、ナトリウム量の改ざん式っていうのを出し、出してます。それで、頭出してんで。
2:23:48	今回廃止措置移行した後もずっとこの式を使って参りました。これまで阪神介護なんかでも、燃料洗浄体の、
2:23:58	燃料体の性質の差、
2:24:01	弱量は、ランダムですよっていうふうなご報告をさせていただきましたけれどもすべて水素濃度からナトリウム量の案内式を用いて、
2:24:12	出したものでございます。以上です。
2:24:15	わかりました。ありがとうございます。
2:24:19	あとすいません今後の話になるんですけども
2:24:28	等図ですね。
2:24:32	9分の6 ページ、25 ページなんですが、
2:24:36	10月の会議の貯蔵量の予測って見ると、
2:24:41	保守的なほ保守的な評価ではあるんだと思うんですが、第3回処理で、
2:24:47	11立米を超えて残り2立米弱。
2:24:51	はい。と同量になるということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:55	このまま、例えば3段階に突入する等この廃液処理が律速になっちゃうんじゃないかなっていうふうなことがちょっと考えられるんですが、
2:25:04	この、
2:25:07	廃棄処理設備の、その導入のスケジュール感っていうものの、細かな考えがあれば、ちょっと教えていただきたいんですけども。
2:25:17	はい。この第3回処理っていうのが、第二段階前半で終わります。それで、もう今の時点で、刀禰。
2:25:27	第二段階の前半までは大丈夫なんだけど、第二担当に後半も多分このままいくと思います。
2:25:34	第3段階で一気に濃縮廃棄が増えて参りますということで、刀禰今、ツープラントなんですけど、
2:25:46	根井。
2:25:48	なかなか難しいんですけど、例えば、
2:25:51	刀禰。
2:25:53	名取に、
2:25:55	ナトリウムの洗浄廃液が退場2、発生しますんで、
2:26:00	従前は浮田廃棄物処理系で処理をして参りましたが、その処理の能力を超える可能性がありますということで、
2:26:11	濃縮できた廃棄物に例えば、
2:26:17	改造を試みたいとか、
2:26:20	あとそういった方法もありますし、濃縮液タンクはいっぱいになるとそれをやっぱり液体の状態なんで、やっぱり安定化固化をさせたいということで、
2:26:32	それをセメント固化装置というよりも、医師ちっさい、何ていうかね、実際容器に廃液を入れて、
2:26:45	一旦ちょっとセメントでセメントとかモーターで安定化した状態で保管するとか、ちょっとまだ具体的にね普段は決めてないんですけども、そういったことを、もう今から考えています。それで、
2:26:58	そのね、どういう計画なんですけど、第3、第2段階、筋かね、第二段階のところ。
2:27:10	前半までに考えて、第二段階の後半の時に認可申請書の変更をしないといけませんということで、そういった設備の導入計画を認可申請書のほうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:23	反映する予定で今おります。カトウですけれども後半の申請でその導入計画みたいなものが出てくると。
2:27:34	はい。はい。はい。はい、わかりましたありがとうございます。
2:27:43	ア、イ、
2:27:44	よろしいでしょうか。何かいいですか。
2:27:46	いや一つ。はい。
2:27:49	すいません堀内氏家。
2:27:51	もう質問ですけど、
2:27:54	これまでは、揉みたいというのは、ナトリウムが抜け辛いと。
2:28:00	いう説明がね、記憶に残ってたんです。
2:28:03	今日の説明を聞くと、200度だから、多分濡れてないでしょうと。
2:28:09	だからついてる両方大したことないと、そういう理解でよろしいですか。
2:28:17	私はそう思ってます。やはりね、200度なので、ニューS Eが悪いですということで、さっきね、
2:28:28	PPに付着するナトリウムの頭っていうのを出しましたけど、やっぱり親子で紙を経験してるね。本当の燃料体にもうナトリウムくっつけにくい状態だと思います。
2:28:40	だから私はそういうふうに解釈しております。はい。
2:28:44	わかりました。
2:28:46	これ、今日、こういう議論だったら何かあったら、質問者、
2:28:56	というかこちらから、多分衛藤。
2:29:01	もともと朝長芸術機構サワザキです。これまでの経緯としまして、
2:29:06	江森燃料体のところには名取いっぱいについて、荒井じゃないかとか、ナトリウム廃液発生量を多くて、セメントパンに影響あるんじゃないかってのがあったんで、
2:29:19	説明として我々の今回8月に、この実験場というのをやったんで、そのデータを踏まえて、参考情報として、我々こういう管理して確認した結果ということで報告させていただきますっていうことをちょっと私は、
2:29:34	事業者の側からの行ったもので、今回こういった資料を用意させてもらってる次第です。
2:29:39	はい。8ページ。
2:29:42	どうもこれで、
2:29:44	実験場試験ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:47	燃料体が上がったところですか。はい。これでやってみたら、
2:29:52	持ってる少なかったっていう結論として予定された。
2:29:56	ちょっといい。
2:29:57	わかりました。はい。
2:30:03	向編集委員。
2:30:05	はい。
2:30:22	強い。
2:30:25	はい、じゃあ、これじゃあ本日の説明は以上でよろしいでしょうか。はい。
2:30:32	はい。
2:30:33	ありがとうございました。今日、今日も、やっぱり一番メインの議論は生命維持施設のところだと思ってこれ
2:30:42	会合等でもいただくとしたけど、一番ポイントだと思っているので、今回、
2:30:51	なので、ちょっと説明の方は今日の議論を踏まえて、
2:30:55	説明していただければと思います。
2:31:02	また、こういうところにちょっとその資料1のことについて今日議論あったこともできます。
2:31:09	まず、最初主事も、まず、我々の説明資料の中で、予備機って何ですかっていう定義がちょっとちゃんとあまり説明できてなくて、ちょっと誤解を与えることになった。
2:31:23	だから、その定義ってのは一言で言うと100%を超える号機のをそういう我々呼んでいるというところがあるので、まずそういう前提だということを説明館に書かせてもらいますと、
2:31:36	ていうと最低必要台数って一体何を言ってるのかっていうのが、いろいろ種類があって、その
2:31:44	衛藤原子力災害防止のための大事なやつは、予備機も含めて、それを必要されていたりするって呼んでるし、そうじゃない設備に関しては予備機は、最近状態に含めないということをやってるんですけども、
2:31:59	それはどういう、もともと当初、当社の考えから配布時代移って、その位置付けが変わった、またもともと運転段階では下部として持ってなめかかったやつだったんだけど、
2:32:11	一つになれば、点検時及び是として持ってりゃいいんだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:15	いうふうを考えてもらってるので、そういった考え方を整理して、実際ここに至ってるんですっていう説明をお借りし直すというのが宿題だと思ってます。
2:32:27	ちょっとあとは補足説明として足りないなんて言われたのが案なんかで、IAはね累計には二つ分け大事なものに、安全ネタ、原子力災害防C2、
2:32:40	関わる設備には使っていないんですけど他はどんなものを使ってるんですかってのが、あんた僕はこんなもん使ってるとですね、そんな、その程度かというので、問題ないなということも理解されるし、
2:32:52	期待薄い形で出てくる排ガス処理するのはこんなものがあって、この程度の量だから、パイパスとかでもEC規定は、
2:33:06	その程度の形式及び機器として使えばいいと。
2:33:10	いうふうにとらえられる。ちょっと説明補足が足りないねっていうことでした。
2:33:15	燃料池の脱塩器を止めてプレコードフィルターを、だけの地震で運用していくって話ですけども、
2:33:26	ちょっとこれは説明不足してますよねということをいただきました。
2:33:30	多分、缶詰缶なしで水質管理されてるから大丈夫なんだという説明もしてるし、それとの整合があるのかっていうところを、ちょっとしっかり補強して、採決が必要だという、
2:33:46	水質管理やります。
2:33:51	もう悪化の説明いらない。
2:33:53	スイス下部に示して、
2:33:56	はい。
2:34:00	いや今1ヶ月の中でも説明いらないから、
2:34:04	SWISS間やって、
2:34:07	これは多分、
2:34:09	表明して後で消して、
2:34:11	PM悪化しないといけない。
2:34:14	ちゃんと消してよ。
2:34:15	そうでちゃんと消してよ。
2:34:17	はい。消します。
2:34:26	そこで、
2:34:35	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:37	燃料域に関しては、江藤羽田金戸町でも大事な声、大体守れるように、水質、水位管理をします。
2:34:50	いうことをやっております。
2:34:54	はい。次は機械系の系統説明がな、一体何なのかっていうのがわからなくて、そこら辺の説明が足りてないんで、江藤バイパスしていいものかどうかっていうのがちゃんと
2:35:08	わからないということなんでここまでの説明をし直すということで、系統の説明から入って説明します。
2:35:16	最後は、タンク等に動かするまでっていう表現があります。やっぱり二次系と一次系との切り分けてやっぱり必要ですよ。
2:35:27	一次的ってのが二次系の一時的なの。一次系は一次的な、ちょっと切り分けが必要なんで、そこをちゃんと明確にしましょう。
2:35:37	いうことをいただいたと思ってます。
2:35:41	はい。
2:35:43	あとは、ない、資料2から6についてはなし。
2:35:49	今後の議論であつたら良いと。
2:35:53	わからなくていいですよ。はい。
2:35:57	八代増子委員。はい。
2:36:16	よろしいでしょうか。
2:36:18	ちょっと1担当一発までっていう基本表記の話は、一時的中っていうか明確にすべきじゃないかっていう指摘なので、
2:36:29	2の間違いがあって、二次系の違いがわかったって言ってもらったんだけど、3条にフォーカスするまで自由定義が時期が明確になってないよね。うんうんだから、
2:36:45	だから遮へい体。
2:36:47	取り出しが完了するまでっていう、一つの案があって、それなりにちゃんと明確にいえるような案で出してくるべきじゃないかっていうこと。
2:36:57	そうですね。はい。
2:36:59	今、明確に、
2:37:04	時期が見えるためにわかるように記載すべき。
2:37:18	二次系との切り分けていうだけしといて、
2:37:23	違う感じがする。
2:37:29	これが出ないと。そう。
2:37:32	1 事件。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:34	いけるなという。
2:37:36	一次系の、
2:37:38	テレビじゃ実験じゃない。
2:37:41	今、一次系で話をして、
2:37:43	ここだろうと。
2:37:45	一次系だと。
2:37:48	一次系もE V S Tだ。
2:37:53	だから、ずっと溶融してるイメージで周りとのところだけはちょっと管理が変わるので、
2:38:00	そこら辺をちゃんと切り分けて明確にできれば、
2:38:07	後すいません確認ですけど、性質範囲の話については、性質管理はしないとは言っていないくて、まだ先期のところをバイパスしますよっていうか使用しませんよっていうところの評価について詳しくするってところで、
2:38:22	回答したいなと思ってるんですけど。
2:38:25	支出についても、しっかり管理して行って、その水質を維持するというような書き方に、
2:38:31	説明したいのはもちろんききますよ。
2:38:34	聞くけどね、S W I S S管理して確かにそれはもちろんです。はい。そこは全部お答え形で書きたいなと思うんですけど、あるじゃない。
2:38:47	ちょっと持ち帰り。
2:38:49	はい。小貫の話どんどんこれができると思う。ちゃんとしたです。はい。
2:38:55	燃料駅周りはね。
2:38:59	まだ燃料は残ってるし、
2:39:01	こんなところであんまり無視で下がっても、何か効果がよくな話。
2:39:07	1ヶ月のデータを持ってきてって言われた時じゃ駄目だと思うし、
2:39:13	すごく僕はそこはハードル高いと。
2:39:18	書記。
2:39:25	ありがとうございました。
2:39:27	わかりました。
2:39:30	はい。
2:39:30	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:31	一応けれども、何か参加されている方で何か確認しておきたいということがありましたらお願いします。
2:39:45	よろしいでしょうか。
2:39:57	間も時間は何かご発言されてるんですけども、
2:40:06	ちょっと音が入ってないんで、
2:40:17	パソコンの方でやないと駄目じゃないですかそっち、イデノさんの方。
2:40:25	予算でどうした。
2:40:27	中西さん。
2:40:31	僕、
2:40:33	僕の一つ。
2:40:35	いや、
2:40:36	はい。鳥羽音が入らないですね。
2:40:42	ふ
2:40:43	増える。
2:40:44	こんな出ちゃう。
2:40:45	これもさっき中尾さんが言った。
2:40:50	おれタカオさんの声は聞こえたんですね、急に悪くなったそう。
2:41:10	出野さん何かご発言ありました。
2:41:14	稲井でいいですか。はい、了解です。
2:41:20	はい。よろしければ、本日はこれで終了にしたいと思います。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。